

S01P04320S00

日 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

J1036 U.S. PTO
09/817597
03/26/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 3月28日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-093034

出 願 人

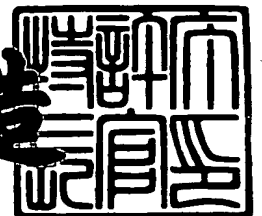
Applicant(s):

ソニー株式会社

2000年12月 8日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2000-3102703



【書類名】	特許願
【整理番号】	0000198405
【提出日】	平成12年 3月28日
【あて先】	特許庁長官殿
【国際特許分類】	H04L 12/16
【発明者】	
【住所又は居所】	東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号 ソニー株式会社 内
【氏名】	中出 元樹
【発明者】	
【住所又は居所】	東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号 ソニー株式会社 内
【氏名】	田中 順
【発明者】	
【住所又は居所】	東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号 ソニー株式会社 内
【氏名】	白石 由人
【発明者】	
【住所又は居所】	東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号 ソニー株式会社 内
【氏名】	黒田 越王
【特許出願人】	
【識別番号】	000002185
【氏名又は名称】	ソニー株式会社
【代表者】	出井 伸之
【代理人】	
【識別番号】	100094053
【弁理士】	
【氏名又は名称】	佐藤 隆久

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 014890

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9707389

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 通信サービス方法とその装置、通信端末装置、通信システム、
広告宣伝方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の通信端末装置を、音声および画像の伝送が可能な状態で接続し、
任意の前記通信端末装置より発信される画像に、任意の商品に係わる画像を合成し、
前記任意の商品の画像が合成された画像を、前記通信端末装置に配信する
通信サービス方法。

【請求項 2】

前記商品は、当該商品の画像が合成される前記画像を発信する前記通信端末装置の使用者が選定した商品である

請求項 1 に記載の通信サービス方法。

【請求項 3】

前記任意の通信端末装置より発信される画像は、当該通信端末装置の使用者の画像を含む画像である

請求項 2 に記載の通信サービス方法。

【請求項 4】

前記複数の通信端末装置間で伝送される画像は、リアルタイムな動画像を含む画像である

請求項 1 に記載の通信サービス方法。

【請求項 5】

前記画像が配信された前記通信端末装置からの要求に応じて、当該通信端末装置に当該商品のより詳細な情報を提供する

請求項 1 に記載の通信サービス方法。

【請求項 6】

前記商品のより詳細な情報を提供した前記通信端末装置に対して、当該商品の取り引きを行なう環境を提供する

請求項 5 に記載の通信サービス方法。

【請求項 7】

前記商品の画像は、前記通信端末装置より発信される画像に含まれているオブジェクトと実質的な有意な関係となるように、当該画像に合成される

請求項 1 に記載の通信サービス方法。

【請求項 8】

前記商品の画像は、前記通信端末装置より発信される画像に、当該通信端末装置の使用者が前記商品を、身につけている、使用しているあるいは保持している画像が生成されるように合成される

請求項 3 に記載の通信サービス方法。

【請求項 9】

発信した画像に前記商品の画像が合成されて配信される前記通信端末装置の使用者に対して、当該商品の画像の配信に係わる所定の条件に基づいて対価を支払う

請求項 1 に記載の通信サービス方法。

【請求項 1 0】

前記対価は、前記商品の画像が合成されて配信された回数、時間あるいは配信先の前記通信端末装置の使用者により行なわれる当該商品に係わる所定の処理に対する所定の状態に基づいて決定される

請求項 9 に記載の通信サービス方法。

【請求項 1 1】

前記対価は、金銭により、当該通信サービスに係わる使用料金との相殺により、あるいは、所定の商品取り引きの際に支払われる金銭との相殺により支払われる請求項 9 に記載の通信サービス方法。

【請求項 1 2】

前記画像を合成する商品は、さらに、当該合成された画像が配信される前記通信端末装置の使用者に応じて選定される

請求項 2 に記載の通信サービス方法。

【請求項 1 3】

前記画像を合成される商品は、一連の前記接続ごと、所定の時間ごと、前記合成対象の画像の発信元の前記通信端末装置からの要求に応じて、あるいは、前記合成された画像の発信先の前記通信端末装置からの要求に応じて、順次切り換えられる

請求項 1 に記載の通信サービス方法。

【請求項 1 4】

複数の通信端末装置を、音声および画像の伝送が可能な状態で接続する接続手段と、

前記接続された通信端末装置より発信される画像を受信する受信手段と、

前記受信した画像に、任意の商品に係わる画像を合成する画像合成手段と、

前記合成された画像を、前記接続された他の通信端末装置に送信する送信手段と

を有する通信サービス装置。

【請求項 1 5】

前記通信端末装置に係わる使用者各々が予め選定した、当該使用者に係わる前記通信端末装置から発信された画像に合成する商品を記録した第 1 の記録手段を有し、

前記画像合成手段は、前記第 1 の記録手段の記録内容に基づいて、商品を選択し該選択した商品の画像を合成する

請求項 1 4 に記載の通信サービス装置。

【請求項 1 6】

広告宣伝対象の商品について、当該商品の画像データを含む情報が記録された第 2 の記録手段を有し、

前記画像合成手段は、前記第 2 の記録手段に記録されている商品より前記商品を選択し、当該商品の前記記録されている画像データを用いて前記画像の合成を行なう

請求項 1 5 に記載の通信サービス装置。

【請求項 1 7】

前記接続手段は、前記複数の通信端末装置を、当該通信端末装置間でリアルタイムな動画像を伝送可能な状態で接続する

請求項 1 4 に記載の通信サービス装置。

【請求項 1 8】

前記通信端末装置より発信される画像は、当該通信端末装置の使用者の画像を含む画像であり、

前記画像合成手段は、前記商品の画像を、前記通信端末装置の使用者が前記商品を身につけている、使用しているあるいは保持している画像が生成されるように、前記通信端末装置より発信される画像に合成する

請求項 1 4 に記載の通信サービス装置。

【請求項 1 9】

前記画像合成手段は、前記商品を、一連の前記接続ごと、所定の時間ごと、前記発信元の前記通信端末装置からの要求に応じて、あるいは、前記合成した画像の発信先の前記通信端末装置からの要求に応じて順次切り換える

請求項 1 4 に記載の通信サービス装置。

【請求項 2 0】

前記通信端末装置に係わる使用者ごとに、当該通信端末装置から発信された画像データに前記商品の画像データが合成された実績に係わる所定のデータを記録する第 3 の記録手段と、

前記第 3 の記録手段の記録内容に基づいて、前記各使用者に対価を支払う精算手段と

を有する請求項 1 4 に記載の通信サービス装置。

【請求項 2 1】

前記接続手段により接続され、前記合成された画像が配信される前記通信端末装置の使用者の、趣味・嗜好が記録された第 4 記録手段を有し、

前記画像合成手段は、さらに前記第 4 の記録手段の記録内容に基づいて、商品を選択し該選択した商品の画像を合成する

請求項 1 6 に記載の通信サービス装置。

【請求項 2 2】

前記送信手段は、前記合成した画像を送信した前記通信端末装置に、当該商品のより詳細な情報あるいは当該商品の取り引きを行なう環境を提供するシステムの接続先の情報をさらに送信する

請求項 1 4 に記載の通信サービス装置。

【請求項 2 3】

通信サービス装置を介して相互に接続され、相互に通話を行なう通信端末装置であって、

接続された他の通信端末装置と通話を行なう通話手段と、

前記通信サービス装置より送信される、他の通信端末装置より発信される画像に任意の商品に係わる画像を合成された画像データ、および、所定の制御データを受信する受信手段と、

前記受信した画像データを表示する表示手段と、

前記表示された画像データ上の任意の位置を指定する位置指定手段と、

前記指定された位置が前記画像データの前記合成された画像部分であった場合に、前記受信した制御データに基づいて所定の処理を行なう制御手段と

を有する通信端末装置。

【請求項 2 4】

前記制御手段は、前記合成された画像部分が指定された場合に、前記通信サービス装置に対して当該合成された画像に係わる商品のさらなる情報または当該商品の取り引きに係わる環境を要求する

請求項 2 3 に記載の通信端末装置。

【請求項 2 5】

前記制御手段は、前記合成された画像部分が指定された場合に、当該合成された画像に係わる商品に係わる他の通信サービス装置に対して当該商品のさらなる情報または当該商品の取り引きに係わる環境を要求する

請求項 2 3 に記載の通信端末装置。

【請求項 2 6】

前記受信手段は、前記商品に係わる前記他の通信サービス装置より送信される

、前記要求に対する応答結果の情報を受信し、
前記表示手段は、前記受信した応答結果の情報を表示する
請求項 2 5 に記載の通信端末装置。

【請求項 2 7】

前記受信手段および前記表示手段における前記他の通信サービス装置からの情報に係わる処理は、前記通信サービス装置を介した前記接続された他の通信端末装置に係わる処理と、実質的に同時に行なう

請求項 2 6 に記載の通信端末装置。

【請求項 2 8】

複数の通信端末装置と、
前記複数の通信端末装置を音声および画像の伝送が可能な状態で接続する通信サービス装置と
を有する通信システムであって、
前記通信サービス装置は、
前記接続された通信端末装置より発信される画像を受信する受信手段と、
前記受信した画像に、任意の商品に係わる画像を合成する画像合成手段と、
前記合成された画像を、前記接続された他の通信端末装置に送信する送信手段
と

を有し、
前記通信端末装置は、
前記通信サービス装置より送信される、他の通信端末装置より発信される画像データを受信する受信手段と、
前記受信した画像データを表示する表示手段と
を有する
通信システム。

【請求項 2 9】

複数の通信端末装置が音声および画像の伝送が可能な状態で接続された通信環境において、
前記通信端末装置の利用者が所望の広告宣伝対象の商品を選定し、

当該使用者に係わる前記通信端末装置より発信される画像に、当該選定された
広告宣伝対象の商品の画像を合成し、

前記商品の画像が合成された画像を、他の前記通信端末装置に配信する
広告宣伝方法。

【請求項 3 0】

前記通信端末装置より発信される画像は、当該通信端末装置の使用者の画像を
含む画像である

請求項 2 9 に記載の広告宣伝方法。

【請求項 3 1】

前記商品の画像は、前記通信端末装置より発信される画像に、当該通信端末装
置の使用者が前記商品を、身につけている、使用しているあるいは保持している
画像が生成されるように合成される

請求項 3 0 に記載の広告宣伝方法。

【請求項 3 2】

前記画像が配信された前記通信端末装置からの要求に応じて、当該通信端末装
置に当該商品のより詳細な情報あるいは当該商品の取り引き環境を提供する

請求項 2 9 に記載の広告宣伝方法。

【請求項 3 3】

発信した画像に前記商品の画像が合成されて配信される前記通信端末装置の使
用者に対して、当該商品の画像の配信に係わる所定の条件に基づいて対価を支払
う

請求項 2 9 に記載の広告宣伝方法。

【請求項 3 4】

前記画像を合成する商品は、さらに、当該合成された画像が配信される前記通
信端末装置の使用者に応じて選定される

請求項 2 9 に記載の広告宣伝方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、動画像を含む任意のデータを伝送可能な通信ネットワークにおける特定の利用者間のプライベートな通信環境において、たとえば商品の広告宣伝サービスや電子商取引環境などの付加サービスを提供することができる通信サービス方法および通信サービス装置、そのようなサービスを享受することのできる通信端末装置、そのような通信システム、および、そのような環境において商品の広告宣伝サービスを行なう広告宣伝方法に関わる。

【0002】

【従来の技術】

通信技術や、符号化技術などを含む種々のデータ処理技術の進展により、動画像のような大量のデータをも処理可能な、携帯型の端末装置が開発されている。そして、近く予定されているより広帯域の通信ネットワークの利用が開始されれば、リアルタイムな動画像（以後、これをライブ映像と言う場合もある。）を処理可能なそのような通信端末装置が、実際に広く普及すると考えられる。

また、そのような通信端末装置で広く普及する装置の1つとして、従来より種々の方式により実用化されつつあるテレビ電話形態の通信端末装置、すなわち、ライブ映像を相互に伝送可能な携帯型の通信端末装置が考えられる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

ところで、そのようなテレビ電話形態の通信端末装置においては、これまで、端末装置間でライブ映像を伝送することのみが着目されており、プライベートな通信を行なうための専用装置として位置付けられている場合がほとんどであった。

そしてその結果、通信ネットワーク上において広く普及している、たとえば商品の紹介や広告、宣伝さらには実際の取引引きというような、いわゆる電子商取引引きの環境との関係が何らなされていなかった。

しかしながら、リアルタイムに動画像が伝送できるそのようなテレビ電話形態

の通信端末装置がそのような電子商取引に関わるシステムの中でも有効であることは明らかであり、そのような通信端末装置を用いたより有効なサービス、システムが要望されていた。

【 0 0 0 4 】

したがって本発明の目的は、特定の利用者間のプライベートな通信環境においても、商品の広告宣伝サービスや電子商取引環境を提供することができる通信サービス方法とその装置を提供することにある。

また本発明の他の目的は、特定の利用者とプライベートな通信を行いながら、商品の広告宣伝サービスや電子商取引環境を享受することのできる通信端末装置を提供することにある。

また本発明の他の目的は、特定の利用者とプライベートな通信環境でありながら、商品の広告宣伝サービスを行い、電子商取引に係ることのできる通信システムを提供することにある。

さらに本発明の他の目的は、特定の利用者間のプライベートな通信環境において、商品の広告宣伝サービスを行なうことのできる広告宣伝方法を提供することにある。

【 0 0 0 5 】

【課題を解決するための手段】

前記課題を解決するために、本発明の通信サービス方法は、複数の通信端末装置を、音声および画像の伝送が可能な状態で接続し、任意の前記通信端末装置より発信される画像に、任意の商品に係わる画像を合成し、前記任意の商品の画像データが合成された画像を、前記通信端末装置に配信する。

好適には、前記商品は、当該商品の画像が合成される前記画像を発信する前記通信端末装置の利用者が選定した商品である。

また好適には、前記任意の通信端末装置より発信される画像は、当該通信端末装置の利用者の画像を含む画像である。

さらに好適には、前記複数の通信端末装置間で伝送される画像は、リアルタイムな動画像を含む画像である。

【 0 0 0 6 】

また好適には、前記画像が配信された前記通信端末装置からの要求に応じて、当該通信端末装置に当該商品のより詳細な情報を提供する。

また好適には、前記商品のより詳細な情報を提供した前記通信端末装置に対して、当該商品の取り引きを行なう環境を提供する

また好適には、前記商品の画像は、前記通信端末装置より発信される画像に含まれているオブジェクトと実質的な有意な関係となるように、当該画像に合成される。

さらに好適には、前記商品の画像は、前記通信端末装置より発信される画像に、当該通信端末装置の使用者が前記商品を、身につけている、使用しているあるいは保持している画像が生成されるように合成される。

【 0 0 0 7 】

好適には、発信した画像に前記商品の画像が合成されて配信される前記通信端末装置の使用者に対して、当該商品の画像の配信に係わる所定の条件に基づいて対価を支払う。

特定のには、前記対価は、前記商品の画像が合成されて配信された回数、時間あるいは配信先の前記通信端末装置の使用者により行なわれる当該商品に係わる所定の処理に対する所定の状態に基づいて決定される。

また特定のには、前記対価は、金銭により、当該通信サービスに係わる使用料金との相殺により、あるいは、所定の商品取り引きの際に支払われる金銭との相殺により支払われる。

【 0 0 0 8 】

特定のには、前記画像を合成する商品は、さらに、当該合成された画像が配信される前記通信端末装置の使用者に応じて選定される。

好適には、前記画像を合成される商品は、一連の前記接続ごと、所定の時間ごと、前記合成対象の画像の発信元の前記通信端末装置からの要求に応じて、あるいは、前記合成された画像の発信先の前記通信端末装置からの要求に応じて、順次切り換えられる。

【 0 0 0 9 】

また、本発明の通信サービス装置は、複数の通信端末装置を、音声および画像の伝送が可能な状態で接続する接続手段と、前記接続された通信端末装置より発信される画像を受信する受信手段と、前記受信した画像に、任意の商品に係わる画像を合成する画像合成手段と、前記合成された画像を、前記接続された他の通信端末装置に送信する送信手段とを有する。

【 0 0 1 0 】

好適には、前記通信端末装置に係わる使用者各々が予め選定した、当該使用者に係わる前記通信端末装置から発信された画像に合成する商品を記録した第 1 の記録手段をさらに有し、前記画像合成手段は、前記第 1 の記録手段の記録内容に基づいて、商品を選択し該選択した商品の画像を合成する。

また好適には、広告宣伝対象の商品について、当該商品の画像データを含む情報が記録された第 2 の記録手段をさらに有し、前記画像合成手段は、前記第 2 の記録手段に記録されている商品より前記商品を選択し、当該商品の前記記録されている画像データを用いて前記画像の合成を行なう。

【 0 0 1 1 】

好適には、前記通信端末装置より発信される画像は、当該通信端末装置の使用者の画像を含む画像であり、前記画像合成手段は、前記商品の画像を、前記通信端末装置の使用者が前記商品を身につけている、使用しているあるいは保持している画像が生成されるように、前記通信端末装置より発信される画像に合成する。

また好適には、前記画像合成手段は、前記商品を、一連の前記接続ごと、所定の時間ごと、前記発信元の前記通信端末装置からの要求に応じて、あるいは、前記合成した画像の発信先の前記通信端末装置からの要求に応じて順次切り換える。

【 0 0 1 2 】

また好適には、前記通信端末装置に係わる使用者ごとに、当該通信端末装置から発信された画像データに前記商品の画像データが合成された実績に係わる所定のデータを記録する第 3 の記録手段と、前記第 3 の記録手段の記録内容に基づい

て、前記各使用者に対価を支払う精算手段とを有する。

さらに好適には、前記接続手段により接続され、前記合成された画像が配信される前記通信端末装置の使用者の、趣味・嗜好が記録された第4記録手段を有し、前記画像合成手段は、さらに前記第4の記録手段の記録内容に基づいて、商品を選択し該選択した商品の画像を合成する。

【0013】

また、本発明の通信端末装置は、通信サービス装置を介して相互に接続され、相互に通話を行なう通信端末装置であって、接続された他の通信端末装置と通話を行なう通話手段と、前記通信サービス装置より送信される、他の通信端末装置より発信される画像に任意の商品に係わる画像を合成された画像データ、および、所定の制御データを受信する受信手段と、前記受信した画像データを表示する表示手段と、前記表示された画像データ上の任意の位置を指定する位置指定手段と、前記指定された位置が前記画像データの前記合成された画像部分であった場合に、前記受信した制御データに基づいて所定の処理を行なう制御手段とを有する。

【0014】

特定的には、前記制御手段は、前記合成された画像部分が指定された場合に、前記通信サービス装置に対して当該合成された画像に係わる商品のさらなる情報または当該商品の取り引きに係わる環境を要求する。

また特定的には、前記制御手段は、前記合成された画像部分が指定された場合に、当該合成された画像に係わる商品に係わる他の通信サービス装置に対して当該商品のさらなる情報または当該商品の取り引きに係わる環境を要求する。

【0015】

好適には、前記受信手段は、前記商品に係わる前記他の通信サービス装置より送信される、前記要求に対する応答結果の情報を受信し、前記表示手段は、前記受信した応答結果の情報を表示する。

また好適には、前記受信手段および前記表示手段における前記他の通信サービス装置からの情報に係わる処理は、前記通信サービス装置を介した前記接続された他の通信端末装置に係わる処理と、実質的に同時に行なう。

【 0 0 1 6 】

また、本発明の通信システムは、複数の通信端末装置と、前記複数の通信端末装置を音声および画像の伝送が可能な状態で接続する通信サービス装置とを有する通信システムであって、前記通信サービス装置は、前記接続された通信端末装置より発信される画像を受信する受信手段と、前記受信した画像に、任意の商品に係わる画像を合成する画像合成手段と、前記合成された画像を、前記接続された他の通信端末装置に送信する送信手段とを有し、前記通信端末装置は、前記通信サービス装置より送信される、他の通信端末装置より発信される画像データを受信する受信手段と、受信した画像データを表示する表示手段とを有する。

【 0 0 1 7 】

また、本発明の広告宣伝方法は、複数の通信端末装置が音声および画像の伝送が可能な状態で接続された通信環境において、前記通信端末装置の利用者が所望の広告宣伝対象の商品を選定し、当該使用者に係わる前記通信端末装置より発信される画像に、当該選定された広告宣伝対象の商品の画像を合成し、前記商品の画像が合成された画像を、他の前記通信端末装置に配信する。

【 0 0 1 8 】

【発明の実施の形態】

本発明の一実施の形態について、図 1 ～図 1 4 を参照して説明する。

本実施の形態においては、通話者同士がライブ映像を相互に伝送できるテレビ電話形態の通信システムであって、特に、通常のプライベートな通信を広告手段として利用することにより、新たな商取引環境を提供することのできる通信システムを例示して本発明を説明する。

【 0 0 1 9 】

まず、その通信システムの構成について図 1 ～図 5 を参照して説明する。

図 1 は、その通信システム 1 1 の基本的な構成を示す図である。

図示のごとく、通信システム 1 1 は、その基本的な構成として、複数のユーザ端末装置 1 0 0、接続システム 2 0 0、サービス事業者システム 3 0 0 およびスポンサーシステム 4 0 0 を有する。

【 0 0 2 0 】

ユーザ端末装置 1 0 0 は、利用者同士が音声および画像を用いた対話を行なうための端末装置であるとともに、サービス事業者システム 3 0 0 が提供する通信サービスに対する設定や操作を行なったり、スポンサーシステム 4 0 0 が提供する商品取引サービスを受けたりするための端末装置である。

ユーザ端末装置 1 0 0 は、音声通話、画像の表示および映像の撮影などの機能を有する。

【 0 0 2 1 】

ユーザ端末装置 1 0 0 について図 2 を参照して説明する。

ユーザ端末装置 1 0 0 は、カメラ 1 0 2、画像符号化部 1 0 4、画像復号化部 1 0 6、ディスプレイ部 1 0 8、マイクロフォン 1 1 0、音声符号化部 1 1 2、音声復号化部 1 1 4、スピーカ 1 1 6、入力部 1 1 8、メモリ 1 2 0、通信 I / F 1 2 2 および CPU 1 2 4 を有する。

【 0 0 2 2 】

カメラ 1 0 2 は、通信相手にライブ映像を送信するために使用者を撮影するための構成部であり、使用者がユーザ端末装置 1 0 0 を通常に使用している状態で、少なくとも使用者の顔部分が撮影できる位置に設けられた小型 CCD カメラである。カメラ 1 0 2 による撮影で得られた映像信号は、画像符号化部 1 0 4 に出力される。

画像符号化部 1 0 4 は、カメラ 1 0 2 より入力される映像信号を所定の方式により符号化し、通信 I / F 1 2 2 に出力する。

【 0 0 2 3 】

画像復号化部 1 0 6 は、通信 I / F 1 2 2 より、通信相手の符号化された画像データであって、場合によって後述するサービス事業者システム 3 0 0 により広告情報が付加された符号化された画像データ、および、後述するスポンサーシステム 4 0 0 から送信される商品の符号化された画像データが入力され、これを復号化し、ディスプレイ部 1 0 8 に出力する。これら 2 つの画像データは、いずれか一方のみが入力される場合もあれば両方が実質的に同時に入力される場合もあるが、両方が同時に入力される場合であっても、画像復号化部 1 0 6 は、それら

を同時にディスプレイ部 1 0 8 に表示可能なように、実質的に同時に復号化し、ディスプレイ部 1 0 8 に出力する。

【 0 0 2 4 】

ディスプレイ部 1 0 8 は、画像復号化部 1 0 6 より入力される画像データ、通信 I / F 1 2 2 より直接的に入力されるたとえば後述するスポンサーシステム 4 0 0 からの商品に係わるテキストデータおよび CPU 1 2 4 より入力されるユーザ端末装置 1 0 0 の使用状態や操作に係わる情報などを、利用者より視覚的に認識可能にディスプレイに表示する。

図示しないが、ディスプレイ部 1 0 8 は、実際に画像を表示するディスプレイと、ディスプレイに印加する信号を生成する制御部とを有する。画像復号化部 1 0 6 より入力される通信相手からの画像データおよび商品の画像データや、通信 I / F 1 2 2 や CPU 1 2 4 より入力されるテキストデータなどは、この制御部で 1 つの画面に表示する信号に合成され、アナログ信号に変換されるなどしてディスプレイに印加するのに好適な信号に変換されて、ディスプレイに印加され、表示が行なわれる。

【 0 0 2 5 】

マイクロフォン 1 1 0 は、通話の際の使用者の発声を含む外部の音声を取り込み、音声信号を生成して音声符号化部 1 1 2 に出力する。

音声符号化部 1 1 2 は、マイクロフォン 1 1 0 より入力される音声信号を所定の方式により符号化し、通信 I / F 1 2 2 に出力する。

音声復号化部 1 1 4 は、通信 I / F 1 2 2 で受信し入力される符号化された音声データを復号化し、スピーカ 1 1 6 より出力可能な信号に変換してスピーカ 1 1 6 に印加する。

スピーカ 1 1 6 は、音声復号化部 1 1 4 より入力される音声信号を音声出力する。

【 0 0 2 6 】

入力部 1 1 8 は、使用者が、通話先のダイヤル、ユーザ端末装置 1 0 0 の種々の機能の設定、サービス事業者システム 3 0 0 に対する種々のサービスの設定、通信相手からのライブ映像中に含まれる商品の指定およびその情報を取り出すた

めの操作、スポンサーシステム400より送信される商品紹介画面に対する種々の操作などを行なうための操作部であり、テンキーおよび任意のポインティングデバイスを有する。

【0027】

メモリ120は、CPU124で行なわれるユーザ端末装置100全体を制御する処理のプログラムやユーザ端末装置100の機能、動作の設定データを初めとして、CPU124における処理の途中のデータ、各構成部間を転送されるデータ、各構成部における処理の途中データなどの種々のデータが記憶される。

また、特に本発明に係わるデータとして、通信相手からのライブ映像中に含まれる商品の情報の、その商品のより詳細な情報を得るためのスポンサーシステム400の接続先情報が、このメモリ120に順次記憶される。

なお、本実施の形態においては、1度の通信により複数の商品の情報を受信した時は、その複数の商品のスポンサーシステム400の接続先情報が全てがメモリ120に記憶される。また記憶された情報は、ユーザ端末装置100により次の通信が開始される時に消去される。

【0028】

通信I/F122は、データの変調や復調およびプロトコル制御などを行い、実際に外部と通信を行なう。

マイクロフォン110で入力され音声符号化部112で符号化された音声データ、カメラ102で撮影され画像符号化部104で符号化された画像データは、通信I/F122より送信される。なお、送信されたデータは、接続事業者システム200およびサービス事業者システム300を介して最終的に通信相手に伝送される。

また、通信相手から、サービス事業者システム300および接続システム200を介して送信されたデータは、通信I/F122により受信され、画像データは画像復号化部106に、音声データは音声復号化部114に、テキストデータはディスプレイ部108に、制御データはCPU124に、各々出力される。

【0029】

さらに、通信I/F122は、通信相手からのライブ映像中に含まれる商品の

情報に基づいて、使用者がその商品のより詳細な情報を得ようとした時に、使用者による入力部 1 1 8 の操作に基づいて CPU 1 2 4 において生成されるその商品のより詳細な情報の要求を、接続事業者システム 2 0 0 を介してその商品に係わるスポンサーシステム 4 0 0 に送信する。

また、その要求に応答して、スポンサーシステム 4 0 0 より何らかの情報が送信されてきた場合、あるいはスポンサーシステム 4 0 0 と接続が確立された場合には、通信 I / F 1 2 2 はスポンサーシステム 4 0 0 から送信される情報を受信し、画像データは画像復号化部 1 0 6 に、音声データは音声復号化部 1 1 4 に、テキストデータはディスプレイ部 1 0 8 に、制御データは CPU 1 2 4 に、各々出力する。

【 0 0 3 0 】

CPU 1 2 4 は、メモリ 1 2 0 に記憶されているプログラムに従って動作し、ユーザ端末装置 1 0 0 が所望の動作をするようにユーザ端末装置 1 0 0 の各部を制御する。

本発明に係わる処理としては、たとえば、通信 I / F 1 2 2 において通信相手からライブ映像中に商品の広告情報が付加された情報を受信した場合には、その広告情報に含まれているその商品に係わるスポンサーシステム 4 0 0 の接続先情報を抽出し、メモリ 1 2 0 に記憶しておく。

【 0 0 3 1 】

そして、使用者によりその商品の詳細な情報を得るための操作がなされた場合には、メモリ 1 2 0 に記憶されている接続先情報に基づいて、その商品に係わるスポンサーシステム 4 0 0 に、通信 I / F 1 2 2 を介して、その詳細な情報の要求を行なう。

また CPU 1 2 4 は、スポンサーシステム 4 0 0 と通信を行い、実際に商取引引きに係わる処理を遂行することになった場合には、そのための認証処理、精算処理などを行なう。

また、新たな通信先との通信が開始された場合には、メモリ 1 2 0 に記憶されている、前回の通信の際に広告情報を受信した商品のスポンサーシステム 4 0 0 の接続先情報を消去する処理を行なう。

【 0 0 3 2 】

このような構成のユーザ端末装置 1 0 0 においては、たとえば利用者が入力部 1 1 8 を操作することにより、CPU 1 2 4 の制御により通信 I / F 1 2 2 が外部装置と通信を開始する。

通信路が確保されたら、利用者が発声した音声はマイクロフォン 1 1 0 で取り込まれて音声符号化部 1 1 2 でデジタル符号化信号に変換され、利用者の映像がカメラ 1 0 2 で撮影されて画像符号化部 1 0 4 でデジタル符号化信号に変換され、さらに必要に応じてたとえば利用者の入力部 1 1 8 の操作などに基づいて CPU 1 2 4 により付加情報、制御情報などが生成されて、各々通信 I / F 1 2 2 より送信される。

【 0 0 3 3 】

また、外部からユーザ端末装置 1 0 0 に対しても、デジタル符号化信号としての音声信号および画像信号、および、必要に応じて付加情報や制御情報が送信される。ユーザ端末装置 1 0 0 では、通信 I / F 1 2 2 がこれらを受信し、音声信号は音声復号化部 1 1 4 で復号化されてスピーカ 1 1 6 より出力され、映像信号は画像復号化部 1 0 6 で復号化されてディスプレイ部 1 0 8 に表示される。

また、付加情報や制御情報は、CPU 1 2 4 においてその情報に基づいて適宜処理される。

ユーザ端末装置 1 0 0 がこのような動作を行なうことにより、任意の相手とのライブ映像を用いたテレビ電話形態での通信が可能となる。

【 0 0 3 4 】

また、本実施の形態においては、後述するサービス事業者システム 3 0 0 により、通信相手から送信される映像信号や音声信号にさらに何らかの商品の広告情報が付加された信号がユーザ端末装置 1 0 0 に送信される。この付加される広告情報は、映像信号に付加されるその商品の画像データ、および、制御信号として送信される、その付加した画像データ部分を規定する情報、その商品に係わるスポンサーシステム 4 0 0 の接続情報およびその画像データが利用者により選択された場合にユーザ端末装置 1 0 0 の動作を規定する情報などである。

このような信号が送信された場合、映像信号および音声信号については、前述

したように画像復号化部 1 0 6 および音声復号化部 1 1 4 で復号化を行い、ディスプレイ部 1 0 8 およびスピーカ 1 1 6 より出力される。

【 0 0 3 5 】

制御信号は、一端 CPU 1 2 4 を介してメモリ 1 2 0 に記憶され、使用者が入力部 1 1 8 を介して何らかの操作を行なった場合などに参照される。すなわち、記憶されている動作を規定する情報に基づいて所定の処理が実行される。より具体的には、たとえば、記憶されている画像データ部分を規定する情報を参照して使用者の操作、指示を検出し、記憶されている接続情報を参照して、スポンサーシステム 4 0 0 に対してその商品に係わる詳細な情報の要求を行なったり、スポンサーシステム 4 0 0 に対して接続を行なったりという処理が行なわれる。

【 0 0 3 6 】

以後、スポンサーシステム 4 0 0 との間で通信を行い、商品に係わる情報を獲得したり、あるいは商品を注文するなどの処理は、前述した通信機能により実行される。

ただし、ユーザ端末装置 1 0 0 が認証機能や特定の精算処理の機能を有している場合には、実際に商品取引を行なう際には、CPU 1 2 4 によるこれらの機能が利用される。

また前述したように、通信 I / F 1 2 2 は複数の通信先との同時的な通信が可能であり、またディスプレイ部 1 0 8 は複数の画像を同時に表示可能である。したがって、最初に説明した所望の相手とのテレビ電話形式の通信と、その時に検出した商品に係わるスポンサーシステム 4 0 0 との通信およびその商品の情報の表示とは、同時に行なうことができる。

以上が、ユーザ端末装置 1 0 0 の構成および動作である。

【 0 0 3 7 】

接続システム 2 0 0 は、ユーザ端末装置 1 0 0、サービス事業者システム 3 0 0 およびスポンサーシステム 4 0 0 を含む、接続システム 2 0 0 が提供する通信網上の任意のノード間を、各ノード装置からの要求に応じて回線接続し、各装置間での通信を可能にする。

本実施の形態に係わる処理としては、ユーザ端末装置 1 0 0 間で通信を行なう

場合、ユーザ端末装置 1 0 0 は 1 次的にサービス事業者システム 3 0 0 に対して接続要求を行なうので、接続システム 2 0 0 は、この接続要求に基づいてそのユーザ端末装置 1 0 0 とサービス事業者システム 3 0 0 とを回線接続する。そしてその後、サービス事業者システム 3 0 0 の要求により、2 次的に、サービス事業者システム 3 0 0 と通話相手のユーザ端末装置 1 0 0 とを回線接続する。

これにより、接続要求元のユーザ端末装置 1 0 0 と、通話相手のユーザ端末装置 1 0 0 とが、サービス事業者システム 3 0 0 を介して通信可能な環境が提供される。

【 0 0 3 8 】

また、接続事業者システム 2 0 0 は、ユーザ端末装置 1 0 0 あるいはスポンサーシステム 4 0 0 からの要求に基づいて、ユーザ端末装置 1 0 0 とスポンサーシステム 4 0 0 との間を回線接続する。

また、サービス事業者システム 3 0 0 がスポンサーシステム 4 0 0 に対して利用者の紹介を行なう場合などには、サービス事業者システム 3 0 0 からの要求にしたがって、サービス事業者システム 3 0 0 からスポンサーシステム 4 0 0 への情報を伝送、あるいは、それらのシステム間の接続を行なう。

なお、接続システム 2 0 0 は種々の形態の通信路により各装置間を接続するが、ユーザ端末装置 1 0 0 間の接続においては、最終的にリアルタイムな動画像の伝送が可能な十分な帯域幅を有する通信路により接続する。

【 0 0 3 9 】

サービス事業者システム 3 0 0 は、ユーザ端末装置 1 0 0 の各々に対して、通常のプライベートな通信の中に広告情報を介在させるような通信環境を提供するシステムである。

サービス事業者システム 3 0 0 は、基本的には、複数のユーザ端末装置 1 0 0 間の接続を仲介し、これらユーザ端末装置 1 0 0 に、動画像の相互伝送を含むテレビ電話形態での通信サービスを提供する。そしてその際、伝送されるライブ映像に利用者自信が選択した所望の商品の画像データを合成し、さらに受信側の利用者の要求に応じてその商品に係わるスポンサーシステム 4 0 0 と直ちに通信が行なえるような情報を付加することにより、広告情報の付加およびそこからの商

品取り引き処理への展開を可能にする。

【 0 0 4 0 】

そのようなサービス事業者システム 3 0 0 について図 3 ～図 5 を参照して説明する。

図 3 は、サービス事業者システム 3 0 0 の構成を示すブロック図である。

図 3 に示すように、サービス事業者システム 3 0 0 は、通信 I / F 3 1 0、広告情報付加部 3 2 0、データベース I / F 3 3 0、ユーザデータベース 3 5 0、スポンサーデータベース 3 6 0、契約関係データベース 3 7 0、広告情報データベース 3 8 0 および制御部 3 4 0 を有する。

【 0 0 4 1 】

通信 I / F 3 1 0 は、接続システム 2 0 0 を介して任意の通信先と通信を行なうインターフェイスであり、本実施の形態においては、特に、ユーザ端末装置 1 0 0 と通信を行なう。

通信 I / F 3 1 0 は、ユーザ端末装置 1 0 0 から接続事業者システム 2 0 0 を介して接続要求があった場合、その要求を受け付けユーザ端末装置 1 0 0 との通信路を確立する。そして、ユーザ端末装置 1 0 0 より何らかの要求、設定などを示す信号が入力されたら、制御部 3 4 0 に出力する。

ユーザ端末装置 1 0 0 が、たとえば広告情報を付加する処理に係わる条件の変更や商品、スポンサーの選定など、通信環境、通信条件の設定などを要求している場合には、制御部 3 4 0 からこの要求に対する何らかの応答が通信 I / F 3 1 0 に入力されるので、通信 I / F 3 1 0 はこれをユーザ端末装置 1 0 0 に返送する。

【 0 0 4 2 】

また、ユーザ端末装置 1 0 0 が他のユーザ端末装置 1 0 0 との通信を要求している場合には、通信 I / F 3 1 0 は、制御部 3 4 0 よりその通信相手先のユーザ端末装置 1 0 0 と回線接続するよう指示されるので、その指示に基づいて、接続事業者システム 2 0 0 に対して接続を要求する。これにより、通信要求元のユーザ端末装置 1 0 0 および通信相手先のユーザ端末装置 1 0 0 の双方と、通信路が確立される。

通信路が確立した後は、通信 I / F 3 1 0 は、各ユーザ端末装置 1 0 0 から入力される画像信号および音声信号を含む信号を受信し、広告情報付加部 3 2 0 に出力する。また、広告情報付加部 3 2 0 より入力される画像信号および音声信号を含む信号を、各ユーザ端末装置 1 0 0 に送信する。

【 0 0 4 3 】

広告情報付加部 3 2 0 は、通信 I / F 3 1 0 より入力されるユーザ端末装置 1 0 0 間の伝送データに、発信元のユーザ端末装置 1 0 0 に係わる利用者による設定に基づいて、必要に応じて広告情報を付加する。

広告情報付加部 3 2 0 には、各ユーザ端末装置 1 0 0 より送信された音声データ、映像データおよび制御データが通信 I / F 3 1 0 を介して入力される。

音声データについては、本実施の形態においては何ら広告情報を付加しないので、広告情報付加部 3 2 0 は、入力された音声データをそのまま通信相手のユーザ端末装置 1 0 0 に対する送信データとして通信 I / F 3 1 0 に出力する。

【 0 0 4 4 】

画像データについては、発信元の利用者が広告情報を付加するよう設定を行っていた場合、広告情報付加部 3 2 0 は、送信されたたとえば利用者のライブ映像である画像データの一部に、データベース I / F 3 3 0 より入力される利用者により選定された特定の商品の広告情報の画像データを合成し、その合成された画像データを通話相手のユーザ端末装置 1 0 0 に対する送信データとして通信 I / F 3 1 0 に出力する。

そして特に、本実施の形態の広告情報付加部 3 2 0 においては、広告対象の商品の画像データを、利用者のライブ映像に適合した形態で、より具体的には、その商品を示す画像が利用者やその背景に使用されている形態、あるいはその商品自体を利用者が身につけていたり、保持していたり、利用者の存在する空間においてあったりする形態で、その利用者のライブ映像に合成する。

【 0 0 4 5 】

このように広告画像データを合成した場合、広告情報付加部 3 2 0 は、この広告画像データに基づいて利用者が実際にその商品に対するさらなる情報を得たり、取り引きを行ったりすることができるように、画像データとともにデータベ

ース I / F 3 3 0 より入力されるその商品の広告情報の付加情報、具体的には、合成した画像データ部分を規定する情報、その商品に係わるスポンサーシステム 4 0 0 の接続情報およびその画像データが利用者により選択された場合にユーザ端末装置 1 0 0 の動作を規定する情報を、ユーザ端末装置 1 0 0 より送信された制御データに追加し、通話相手のユーザ端末装置 1 0 0 に対する送信データとして通信 I / F 3 1 0 に出力する。

【 0 0 4 6 】

また、利用者が広告情報を付加しない設定を行なっていた場合には、画像データおよび制御データともに、音声データと同じく、通信 I / F 3 1 0 より入力されたデータがそのまま通信相手のユーザ端末装置 1 0 0 に対する送信データとして通信 I / F 3 1 0 に出力される。

なお、このような処理を行なう際の利用者による設定を吟味し動作を制御する処理は、実際には後述する制御部 3 4 0 により行なわれる。したがって広告情報付加部 3 2 0 は、制御部 3 4 0 より入力される制御信号に基づいて、必要に応じて制御部 3 4 0 の制御によりデータベース I / F 3 3 0 より入力される広告画像データを用いて、前述した処理を行なうことになる。

【 0 0 4 7 】

このような処理を行なう広告情報付加部 3 2 0 の、特に画像データに対して広告画像データを付加する処理を行なう部分の構成について、図 4 および図 5 を参照してより詳細に説明する。

図 4 は、広告情報付加部 3 2 0 の画像データに対して広告画像データを付加する処理を行なう部分の構成を示すブロック図である。

広告情報付加部 3 2 0 は、画像合成領域抽出部 3 2 1、前処理部 3 2 6、画像合成部 3 2 7 および切り換え部 3 2 8 を有する。

【 0 0 4 8 】

画像合成領域抽出部 3 2 1 は、入力される画像データおよび制御部 3 4 0 から入力される合成対象の広告画像データを合成するのに好ましい対象物の情報とに基づいて、広告画像データを合成する対象物を決定し、その対象物の領域を規定する情報を前処理部 3 2 6 および画像合成部 3 2 7 に出力する。

この画像合成領域抽出部 3 2 1 の構成および動作について、さらに図 5 を参照して詳細に説明する。

図 5 は、図 4 に示した画像合成領域抽出部 3 2 1 の構成を示すブロック図である。

画像合成領域抽出部 3 2 1 は、特徴抽出部 3 2 2、知識データベース 3 2 3、対象オブジェクト検出部 3 2 4 および合成領域決定部 3 2 5 を有する。

【 0 0 4 9 】

特徴抽出部 3 2 2 は、入力される画像データより、たとえば輝度の変化点、色の変化点、特定の色の点など所定の特徴点を抽出し、抽出した特徴点の情報を対象オブジェクト検出部 3 2 4 に出力する。

【 0 0 5 0 】

知識データベース 3 2 3 は、画像合成領域抽出部 3 2 1 が認識しようとしている入力画像データ中の対象物、すなわち、前述したように広告画像データを置換あるいは合成する可能性のある対象物のデータが、ユーザ端末装置 1 0 0 を通常に使用した場合に撮影されて生成される画像データを対象オブジェクト検出部 3 2 4 において検出対象としている特徴点により規定した形式で記録しているデータベースである。各対象物のデータは、通常あり得るような場面を、ユーザ端末装置 1 0 0 を通常に使用して撮影した場合に生成される可能性の高い、典型的ないくつかの画像データに対応する各状態ごとに、複数記録されている。

また、知識データベース 3 2 3 には、たとえば「顔や手は皮膚の色である」というような各対象物の特徴点の配置以外の他の特徴や、あるいは、たとえば「顔の下に上着があってその両脇に手がある」というような各対象物の相対的な位置関係の特徴なども記憶されている。

【 0 0 5 1 】

対象オブジェクト検出部 3 2 4 は、特徴抽出部 3 2 2 で抽出された特徴点の構成と、知識データベース 3 2 3 に記録されている各対象物のデータとを比較し、さらに特徴点の配置以外の他の特徴や、既に検出された対象物との相対的な位置関係の特徴などを参照して、入力画像データの中の広告画像データを置換あるいは合成する可能性のある特定の対象物の領域を検出する。検出された対象物の情

報は、合成領域決定部 3 2 5 に出力される。

【 0 0 5 2 】

合成領域決定部 3 2 5 は、対象オブジェクト検出部 3 2 4 より入力される対象物の検出結果の情報と、制御部 3 4 0 より入力される広告画像データを合成するのに好ましい対象物の情報とに基づいて、最終的の広告画像データを合成する対象物を決定する。制御部 3 4 0 から合成領域決定部 3 2 5 には、各商品ごとに予め設定された、合成可能な対象物およびその中での優先順位の情報が入力される。したがって、合成領域決定部 3 2 5 は、優先順位の高い方から順に、合成可能な対象物が対象オブジェクト検出部 3 2 4 で検出しているか否かをチェックし、検出されている場合にその対象物を合成対象の対象物と決定する。

そして合成領域決定部 3 2 5 は、その対象物の領域を規定する情報を、画像合成領域抽出部 3 2 1 より出力する。

以上が、画像合成領域抽出部 3 2 1 の構成の説明である。

【 0 0 5 3 】

広告情報付加部 3 2 0 の前処理部 3 2 6 は、広告情報データベース 3 8 0 より読み出されデータベース I / F 3 3 0 を介して入力される合成対象の広告画像データを、画像合成領域抽出部 3 2 1 で抽出された合成対象の領域に合成可能なサイズ、形状に変換し、画像合成部 3 2 7 に出力する。

【 0 0 5 4 】

画像合成部 3 2 7 は、入力される画像データの、画像合成領域抽出部 3 2 1 より入力される合成対象の領域のデータと、前処理部 3 2 6 より入力される広告画像データとを合成し、合成結果の画像データを切り換え部 3 2 8 に出力する。本実施の形態においては、画像合成部 3 2 7 は、単に入力画像データの合成対象の領域のデータを広告画像データで置換して出力する。

【 0 0 5 5 】

切り換え部 3 2 8 は、制御部 3 4 0 からの制御信号に基づいて、利用者が広告情報を付加しない設定を行っていた場合には入力画像データを選択し、利用者が広告情報を付加する設定を行っていた場合には画像合成部 3 2 7 で合成された画像データを選択し、各々通信 I / F 3 1 0 に出力する。

以上が、広告情報付加部 3 2 0 の画像データの処理に係わる構成部の説明である。

【 0 0 5 6 】

サービス事業者システム 3 0 0 のデータベース I / F 3 3 0 は、制御部 3 4 0 の制御に基づいて、広告情報データベース 3 8 0 より所望の商品の広告情報を読み出し、所定のチャンネルより広告情報付加部 3 2 0 に出力する。データベース I / F 3 3 0 から広告情報付加部 3 2 0 には、同時並列的に画像データを出力可能な複数の入出力チャンネルを有しており、データベース I / F 3 3 0 は、複数の広告情報を実質的に同時的に読み出し所定のチャンネルを介して広告情報付加部 3 2 0 に出力する。

なお、広告情報データベース 3 8 0 より読み出される広告情報は、商品の広告画像データおよび付加情報を有する。

【 0 0 5 7 】

ユーザデータベース 3 5 0 は、サービス事業者システム 3 0 0 による通信サービスを利用する利用者の、種々の管理データを記録するデータベースである。

ユーザデータベース 3 5 0 には、各利用者ごとに、氏名や I D、接続先情報などの管理データ、サービス利用に係わる精算データが記録される。また、各利用者がライブ映像を広告媒体として利用されることを認めるか否かの設定も記録される。

【 0 0 5 8 】

スポンサーデータベース 3 6 0 は、サービス事業者システム 3 0 0 による、プライベートな通信のライブ映像に対する広告宣伝サービスを利用するスポンサー側の種々のデータが記録されたデータベースである。

スポンサーデータベース 3 6 0 には、広告をしたい商品ごとに、そのスポンサー、スポンサーへの接続先情報、広告情報データベース 3 8 0 よりその商品の広告情報を読み出すためのアドレス情報、その商品をライブ映像へ合成する際の好ましい合形成態などの情報が記録される。

【 0 0 5 9 】

契約関係データベース 3 7 0 は、ライブ映像を広告媒体として利用されること

を認めた利用者ごとに、実際に広告媒体として利用されるための契約、設定、条件などの情報が記録される。具体的には、利用者が選定した広告対象の商品、広告切り換え方法、広告優先順位、対価受け取り方法などの情報が記録される。

【 0 0 6 0 】

広告情報データベース 3 8 0 は、広告対象の各商品の広告情報が記録されたデータベースである。

広告情報データベース 3 8 0 には、各商品ごとにその広告情報、すなわちその商品の画像データと付加情報が記録される。付加情報は、その商品のスポンサーのスポンサーシステム 4 0 0 の接続情報およびその画像データが利用者により選択された場合にユーザ端末装置 1 0 0 の動作を規定する情報を含む。

そして広告情報データベース 3 8 0 は、データベース I / F 3 3 0 により広告対象の商品に係わる情報が高速に読み出される。また、スポンサーから送信された新たな商品の広告情報が、データベース I / F 3 3 0 を介して適宜記録される。

【 0 0 6 1 】

制御部 3 4 0 は、利用者間で伝送されるデータに適切に広告情報を付加し、接続事業者システム 2 0 0 を介して接続されるユーザ端末装置 1 0 0 およびスポンサーシステム 4 0 0 に適切に広告宣伝環境を提供できるように、サービス事業者システム 3 0 0 の各部を制御する。

具体的には、まず、通信 I / F 3 1 0 を介してユーザ端末装置 1 0 0 およびスポンサーシステム 4 0 0 より入力される種々の要求に対応して所望の処理を行なう。

たとえば、スポンサーシステム 4 0 0 よりサービス事業者システム 3 0 0 が提供する広告サービスの利用、広告対象の商品の新規登録や抹消などの要求があった場合には、制御部 3 4 0 は、その要求に基づいて適宜スポンサーデータベース 3 6 0 および広告情報データベース 3 8 0 を更新する。

【 0 0 6 2 】

また、新たな利用者が登録を要求してきた場合には、制御部 3 4 0 は通信 I / F 3 1 0 を介してそのユーザ端末装置 1 0 0 と適宜セッションを行い登録に必要な

な種々の情報を得るとともに必要に応じてその利用者の審査を行なう。そして、その利用者が審査に合格すれば、ユーザデータベース 3 5 0 にその情報を記録しその利用者の登録を行なう。

また、ユーザ端末装置 1 0 0 より、通信相手に伝送される自分のライブ映像を広告媒体として利用することを認めるか否かの設定、その場合の商品の選定、および、それらの変更の要求があった場合には、制御部 3 4 0 はその要求に基づいて契約関係データベース 3 7 0 の内容を更新する。

【 0 0 6 3 】

また、ユーザ端末装置 1 0 0 より他のユーザ端末 1 0 0 との通信の要求があった場合には、要求されている通信相手のユーザ端末装置 1 0 0 と接続するように、通信 I / F 3 1 0 に指示を行なう。

そして、ユーザデータベース 3 5 0 を参照して、その通信要求元のユーザ端末装置 1 0 0 および通信相手先のユーザ端末装置 1 0 0 が、各々自分のライブ映像を広告媒体として使用する設定を行なっているか否かを判定する。

そのような設定を行なっていた場合には、さらに契約関係データベース 3 7 0 を参照して、その設定内容、すなわち、どの商品をどのようなタイミングで切り換えながらどのように合成するかというような情報を読み出す。

また、データベース I / F 3 3 0 に対して、合成する商品の広告情報を読み出し、広告情報付加部 3 2 0 の所定のチャンネルに出力するように指示する。

【 0 0 6 4 】

また制御部 3 4 0 は、ユーザ端末装置 1 0 0 間で通信が開始された場合、契約関係データベース 3 7 0 より読み出した設定に従って適切に広告画像が合成されるように、広告情報付加部 3 2 0 の動作の制御を行なう。

【 0 0 6 5 】

次に、このような通信システム 1 1 の動作について、図 6 ～図 8 を参照して説明する。

図 6 は、通信システム 1 1 の動作を説明するための図である。

まず、利用者 A は、予めサービス事業者システム 3 0 0 に対して、自分のライブ映像を広告媒体として使用する旨の設定および商品の選定を行なっておく。

そのような状況の下で、利用者Aが利用者Bとテレビ電話形態でライブ映像を用いた通信を行なおうとした場合、利用者Aはユーザ端末装置100_Aより、接続事業者システム200を介してサービス事業者システム300に対して、利用者Bのユーザ端末装置100_Bに対する接続の要求を行なう(1)。

【0066】

サービス事業者システム300においては、この要求が通信I/F310を介して制御部340に入力され、制御部340の制御により、通信I/F310より接続事業者システム200に対して利用者Bのユーザ端末装置100_Bに対する接続の要求がなされる。

これに応じて接続システム200が、利用者Bのユーザ端末装置100_Bを呼び出し、利用者Bがユーザ端末装置100_Bを通話状態とすることにより、利用者Aのユーザ端末装置100_A、利用者Bのユーザ端末装置100_Bとサービス事業者システム300との各回線接続が確立する(2)。

【0067】

一方、サービス事業者システム300の制御部340においては、利用者Aから接続要求があった時点で、ユーザデータベース350の利用者Aおよび利用者Bの情報を検索し、利用者Aおよび利用者Bが各々ライブ映像を広告媒体として使用する設定を行なっているか否かをチェックする。

その結果、利用者Aについてはそのような設定がなされているため、制御部340は契約関係データベース370より、商品、商品の切り換え条件、対価受け取り方法などの情報を読み出し、また、スポンサーデータベース360より、その商品の広告情報が記録されている広告情報データベース380上のアドレス、その商品を合成する際の合形成態などの情報を読み出す。

【0068】

そして、これら読み出した情報に基づいて、制御部340が、データベースI/F330に対して広告対象の商品のデータを広告情報データベース380から読み出すように、また、広告情報付加部320に対して、利用者およびスポンサーが望む形態で、商品の画像データがライブ映像に合成されるように、各々指示する。

このような状態で、利用者Aのユーザ端末装置100_Aよりサービス事業者システム300に、利用者Bのユーザ端末装置100_Bに送信するライブ映像が入力されると、広告情報付加部320においてそのライブ映像に広告対象の商品の画像が合成されて、利用者Bのユーザ端末装置100_Bに送信される。

【0069】

たとえば、図7に示すようなライブ映像500が入力され、広告対象の商品がハンバーガーであり、商品の合形成態が「衣服にその商品の絵を印刷する」というような条件であった場合、利用者Bに対しては図8に示すように、利用者Aの着ているTシャツにハンバーガーの絵柄502が印刷されているような映像が送信されることになる。

またこの時には、合成された画像データとともに、広告対象商品の画像データが表示される領域、その商品のスポンサーのスポンサーシステム400のアドレス、接続先などの情報が、制御データとして同時に利用者Bのユーザ端末装置100_Bに送信される。

【0070】

図8に示すような合成映像を生成する広告情報付加部320内の処理について説明する。

まず、広告情報付加部320の画像合成領域抽出部321内の特徴抽出部322において、図7に示すようなライブ映像より輝度変化点や色変化点あるいは色の代表点などの特徴点が検出される。

次に、対象オブジェクト検出部324において、予め顔や手、上着といったような形状が記録されている知識データベース323の情報が積極的に活用されて、特徴点で構成される画像よりそれら顔、手、上着などといったオブジェクトが検出される。たとえば図7に示すような画像からは、顔、手、上着というようなオブジェクトが検出される。

【0071】

そして合成領域決定部325において、検出されたオブジェクトの中より制御部340より入力される広告対象商品の合形成態の情報に合致したオブジェクトが選択され、その領域情報が前処理部326および画像合成部327に出力され

る。たとえば、商品「ハンバーガー」に対して、「背景の平面の上」、「上着」、「手」というような合成形態が順に設定されていたとすると、2番目の「上着」が合致するので、この上着のライブ映像中の領域情報が出力される。

【0072】

次に、広告情報付加部320の前処理部326において、広告情報データベース380よりデータベースI/F330を介して入力された画像データ、すなわち「ハンバーガー」の画像データを、画像合成領域抽出部321で検出された領域に埋め込むのに適切なサイズ、形状に変換し、変換結果の画像データを画像合成部327に出力する。

そして画像合成部327において、入力された図7に示すようなライブ映像の、画像合成領域抽出部321より入力される上着の領域に、前処理部326より入力されるハンバーガーの画像データが合成され、図8に示すような画像が生成される。

生成された合成画像データは、切り換え部328で選択されて通信I/F310を介して利用者Bのユーザ端末装置100_Bに送信される。

【0073】

さて、たとえば図8に示すような映像が送信された利用者Bが利用者Aと通話を行なっている中で、利用者AのTシャツにプリントされているハンバーガーに興味を持った場合、通常の行為としては利用者Aにそのハンバーガーがどのようなものであるか質問することが予測される。

一方で利用者Aは、このハンバーガーは自ら広告対象として選定した商品なので、このハンバーガーに対して何らかの知識を持っており、さらに好感を持っている可能性が高い。

したがって、仮に利用者Bが利用者Aに質問を行なった場合、利用者Aが商品たるハンバーガーの説明を行い、さらに「おいしかった」とか「一度食べてみたら」などと商品の推薦や購入を進める発言をする可能性が高い。

その結果、単に画像を利用者Bに提示するという事以上に、広告宣伝の効果が生じることになる。

【 0 0 7 4 】

そのような利用者間での会話があったか否かに係わらず、利用者 B がそのハンバーガに興味を持った場合で、たとえば値段や発売期間、最寄りの購入可能場所などの詳細な情報を知りたいと思った時には、ユーザ端末装置 1 0 0 _B 上においてそのハンバーガの部分を選択する操作を行なう。

前述したように、ユーザ端末装置 1 0 0 _B には、広告対象商品の画像を合成したライブ映像の他に、広告対象商品の画像の領域を示す情報、その商品のスポンサーのスポンサーシステム 4 0 0 の接続先情報および必要に応じてその商品の画像が選択された場合のユーザ端末装置 1 0 0 _B の動作を規定する情報が送信されている。

【 0 0 7 5 】

したがって、利用者 B がこの商品の画像を選択することにより、ユーザ端末装置 1 0 0 _B が所定の動作を行なう。本実施の形態においては、その商品の画像データが選択されることにより、ユーザ端末装置 1 0 0 _B よりその商品のスポンサーのスポンサーシステム 4 0 0 に対して情報の要求、あるいは通信の要求がなされる。

その結果、スポンサーシステム 4 0 0 から利用者 B のユーザ端末装置 1 0 0 _B に対してアクセスが行なわれ、さらなる商品の情報が送信される。また、場合によっては、その商品の購入の申込みを行なうこともできる（3）。

【 0 0 7 6 】

なお、このような処理にともなって、サービス事業者システム 3 0 0 の制御部 3 4 0 は、広告宣伝に係わる処理の実績、すなわち、商品の画像データを合成して使用した回数、あるいはその時間、広告先でその商品が選択された回数、あるいは最終的にその商品の購入されたが購入されたかななどの情報を、広告媒体となった利用者ごとに、また商品ごとに集計し、ユーザデータベース 3 5 0 およびスポンサーデータベース 3 6 0 に記憶しておく。

そして、適宜この実績の情報に基づいて、広告媒体となった各利用者に対して、所定の対価を支払う処理を行なう。

【 0 0 7 7 】

このように、本実施の形態の通信システム 1 1 によれば、通常の利用者間のプライベートな通信環境で利用されるライブ映像を、商品の広告宣伝環境として、あるいは電子商取引の環境として利用することができる。

そして特にこのような広告宣伝は、利用者が自ら選定した商品を、プライベートな相手に自らの体験や判断に基づいて宣伝するというように行なわれるため、非常に効果が高い。

【 0 0 7 8 】

なお、本発明は本実施の形態に限定されるものではなく、任意好適な種々の改変が可能である。

【 0 0 7 9 】

たとえば、サービス事業者システム 3 0 0 の広告情報付加部 3 2 0 で行なう商品の画像の合形成態は、図 8 に示した例に限られるものではなく、種々の形態が可能である

たとえば、商品の画像データを埋め込む場所は、送信されるライブ映像中の任意の場所でもよい。

たとえば図 9 に示すように、背景画像中の水平面部分に商品の画像 5 0 3 を合成するようにしてもよいし、図 1 0 に示すように背景画像中の垂直面部分に商品の画像 5 0 4 を合成するようにしてもよい。前者の場合には、あたかも机などの水平面上に商品が置かれているかのような、また後者は壁に商品がかけられていたり、商品の絵がかけられているかのような、各々リアリティのある映像を生成することができる。

【 0 0 8 0 】

また、そもそもライブ映像に映っている利用者が、その商品を使用しているかのような形態で画像を合成するようにしてもよい。

たとえば図 1 1 に示すように、利用者の上着をそもそも広告対象の衣料 5 0 5 に置換してしまったり、図 1 2 に示すように、利用者が商品 5 0 6 を手に持っているような画像を生成するようにしてもよい。

このような方法によれば、より一層リアリティのある映像を生成することがで

きる。

【 0 0 8 1 】

また、図 1 3 に示すように、ライブ映像の状態とは何ら関係なく、単にライブ映像にその商品の名称や画像などが記載されたオブジェクト 5 0 7 を重ね合わせるようにして、その商品の広告、宣伝を行なうようにしてもよい。

このような方法は、リアリティ性はないが、合成するための画像処理回路の構成を非常に簡単にすることができる。

このような基本的な方法も本発明の範囲内である。

【 0 0 8 2 】

また、前述した実施の形態では図示しなかったが、利用者 A と通話中の利用者 B が、広告された商品に興味をもちその商品に係わるスポンサーシステム 4 0 0 と通信を開始した場合、スポンサーシステム 4 0 0 から送信されるさらなる商品の情報は、利用者 A のライブ映像が表示されているユーザ端末装置 1 0 0 -B のディスプレイ部 1 0 8 に同時に表示される。

この時の、表示の形態は、たとえば図 1 4 に示すような場合を含み、任意の形態でよい。

【 0 0 8 3 】

たとえば、図 1 4 (A) に示すように、利用者 A のライブ映像が表示れるウィンドウと商品の紹介映像が表示されるウィンドウを重なりを許しなげらして表示するようにしてもいいし、図 1 4 (B) に示すようにディスプレイを横方向に分割し、あるいは図 1 4 (C) に示すようにディスプレイを縦方向に分割し、各映像を表示するようにしてもよい。

また、スポンサーシステム 4 0 0 から商品の情報が送信されている間は、利用者 A と通話状態であっても利用者 A のライブ映像は表示せず、図 1 4 (D) に示すように商品の紹介映像だけをディスプレイ全面を用いて表示するようにしてもよい。

【 0 0 8 4 】

また、前述した実施の形態においては、利用者 B が利用者 A との対話を維持しながら商品の情報をスポンサーシステム 4 0 0 から入手する場合を説明したが、

利用者 A と通話中に受信した広告対象の商品に係わる情報は、次の通話を開始するまではユーザ端末装置 1 0 0 のメモリ 1 2 0 に蓄積されている。したがって、利用者 A との通話を終了した後に、メモリ 1 2 0 に蓄積されている情報を読み出し、別途スポンサーシステム 4 0 0 と接続して所望の商品の情報を獲得するようにしてもよい。

【 0 0 8 5 】

また、本実施の形態においては、画像データにのみ広告対象の商品の情報を合成し、音声データについては、何ら処理を行わず利用者間を伝送するものとした。しかし、本発明は音声データに対して広告情報を付加するようにしてもよい。

具体的には、たとえば通話を行なっている背景の音声として、広告対象の商品や会社を想起させる音楽や音声を流すようにしてもよい。

また、所定時間以上無声時間が継続した場合、すなわち沈黙があった場合に、広告対象の商品に係わる音声データを流すようにしてもよい。

【 0 0 8 6 】

そのような場合に広告情報付加部 3 2 0 に備えられる、音声の合成に係わる処理部の構成を図 1 5 に示す。

図 1 5 に示す構成においては、音声合成箇所検出部 6 2 1 において音声を合成する箇所を検出し、前処理部 6 2 6 において合成する音声データのたとえばレベルや時間などを合成するのに適した形態に変換し、画像合成部 6 2 7 において合成し、切り換え部 6 2 8 により選択されて出力される。

【 0 0 8 7 】

また、前述したサービス事業者システム 3 0 0 においては、広告対象の商品は、各利用者が設定した優先度に応じて選択し使用されていたが、広告宣伝の対象となる通話相手に応じて選択されるようにしてもよい。

たとえば、各利用者が、自分が広告を受ける場合の商品の決定に係わる情報を予め登録しておき、その情報を参照して商品を選択するようにしてもよい。

また、図 1 6 に示すように、サービス事業者システム 3 0 0 b 中に各利用者の趣味や嗜好を登録した趣味嗜好データベース 3 9 0 を設けておき、これに基づい

てその利用者に広告して効果のありそうな商品を選択するようにしてもよい。この場合、趣味嗜好データベース 3 9 0 に記録するデータは、各利用者からの申告に基づいて収集してもよいし、利用者の会話内容よりキーワード抽出を行ない頻度を求めるなどして自動的に収集するようにしてもよい。

【 0 0 8 8 】

また、通信システム 1 1 における接続事業者システム 2 0 0 およびサービス事業者システム 3 0 0 の構成も、本実施の形態に限られるものではない。

たとえば、図 1 7 に示すように、接続事業者が同時にサービス事業者としてサービスを提供する形態、すなわち、接続システム 2 0 0 とサービス事業者システム 3 0 0 とが一体となって接続事業者システム 7 0 0 を構成するような通信システム 1 2 であってもよい。

また、前述した実施の形態は、接続システム 2 0 0 およびサービス事業者システム 3 0 0 が 1 対 1 に対応した基本的な構成を示したが、接続システム 2 0 0 およびサービス事業者システム 3 0 0 がともに複数存在するような構成であっても何ら差し支えない。

【 0 0 8 9 】

また、ライブ映像と広告画像の合成は、前述した実施の形態では単にライブ映像の所定の領域を広告画像で置換するものであったが、このような処理に限定されるものではない。たとえば、入力画像データと広告画像データを所定の比率でブレンドするような処理を行なってもよい。このような合成を行なえば、入力画像を背景画像として透視できるような映像を生成することができ、たとえば半透明な商品をよりリアルに表現することができる。

【 0 0 9 0 】

また、このようなライブ映像や合成映像を伝送する際のデータ形式は、独自のフォーマットでもよいし、HTML や i M O D E のフォーマットでもよい。また、インターネットに接続できるような、任意のオープンなフォーマットでもよい。

また、ライブ映像と商品画像の合成は、送信側のユーザ端末装置 1 0 0、あるいは、受信側のユーザ端末装置 1 0 0 で行なうようにしてもよい。

【 0 0 9 1 】

また、広告から実際に商品の情報にアクセスする電子商取引きのモードへの移行に際し、ユーザ端末装置 1 0 0 から直接スポンサーシステム 4 0 0 にアクセスするのではなく、サービス事業者システム 3 0 0 が仲介することによりユーザ端末装置 1 0 0 とスポンサーシステム 4 0 0 とを接続するようにしてもよい。このような形態にすれば、広告段階でサービス事業者システム 3 0 0 から接続事業者システム 2 0 0 に送信する制御データを少なくすることができる。

【 0 0 9 2 】

さらに、広告宣伝を行なう対象は、商品、企業、ブランドなど、任意のものを対象としてよい。

また、広告を切り換えるタイミングは、1 回の通話ごとに 1 つの対象物を広告するようにしてもよいし、所定の時間ごとに広告内容を変えるようにしてもよいし、送信元の利用者あるいは送信先の利用者の操作により切り換えるようにしてもよい。

また、各利用者が広告媒体となる対価の支払い基準は、広告掲載回数、広告掲載時間、受信側利用者によるその商品選択回数および商品の販売ごとなど、任意の基準で設定してよい。

また、その場合の対価の支払い方法も、現金での支払い、通信サービス使用料としての還元、電子商取引きを行なう際に還元など、任意の方法を用いてよい。

【 0 0 9 3 】

また、本実施の形態では 2 者間の通信を例示したが、3 人以上の多者間の通信においても、そのままの形態で適用可能である。

その他、接続事業者の接続方法、通信網の種類、データの伝送形態、ユーザ端末装置の形態なども、任意の方法、種類、形態を使用してよく、本実施の形態に何ら制限されるものではない。

【 0 0 9 4 】

また、本実施の形態においては、一旦ユーザ端末装置 1 0 0 のメモリ 1 2 0 に記憶された商品の情報は、ユーザ端末装置 1 0 0 により次の通信が開始されるご

とに消去されるものとした。しかし、この情報は順次蓄積しておくようにし、必要に応じて過去に逆上って参照できるようにしてもよい。この商品の情報は、受信後、任意の形態により利用してよい。

【 0 0 9 5 】

【発明の効果】

このように本発明によれば、特定の利用者間のプライベートな通信環境において、商品の広告宣伝サービスや電子商取引環境を提供することができる通信システム、通信サービス方法およびその装置を提供することができる。

また、特定の利用者とプライベートな通信を行いながら、商品の広告宣伝サービスや電子商取引環境を享受することのできる通信端末装置を提供することができる。

また、特定の利用者間のプライベートな通信環境において、商品の広告宣伝サービスを行なうことのできる広告宣伝方法を提供することができる。

また、伝送データに所望の商品の広告宣伝情報を合成する情報処理装置を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

図 1 は、本発明の一実施の形態の通信システムの構成を示すブロック図である。

【図 2】

図 2 は、図 1 に示した通信システムのユーザ端末装置の構成を示すブロック図である。

【図 3】

図 3 は、図 1 に示した通信システムのサービス事業者システムの構成を示すブロック図である。

【図 4】

図 4 は、図 3 に示したサービス事業者システムの広告情報付加部の画像データに対して広告画像データを付加する処理を行なう部分の構成を示すブロック図である。

【図 5】

図 5 は、図 4 に示した広告情報付加部の画像合成領域抽出部の構成を示すブロック図である。

【図 6】

図 6 は、図 1 に示した通信システムの動作を説明するための図である。

【図 7】

図 7 は、図 1 に示した通信システムにおいて、発信元の利用者のユーザ端末装置からサービス事業者システムに送信されるライブ映像を示す図である。

【図 8】

図 8 は、図 1 に示した通信システムにおいて、サービス事業者システムから発信先の利用者のユーザ端末装置に送信される商品画像が合成された映像を示す図である。

【図 9】

図 9 は、図 1 に示したサービス事業者システムにおいて商品画像を合成する他の形態を示す第 1 の図である。

【図 1 0】

図 1 0 は、図 1 に示したサービス事業者システムにおいて商品画像を合成する他の形態を示す第 2 の図である。

【図 1 1】

図 1 1 は、図 1 に示したサービス事業者システムにおいて商品画像を合成する他の形態を示す第 3 の図である。

【図 1 2】

図 1 2 は、図 1 に示したサービス事業者システムにおいて商品画像を合成する他の形態を示す第 4 の図である。

【図 1 3】

図 1 3 は、図 1 に示したサービス事業者システムにおいて商品画像を合成する他の形態を示す第 5 図である。

【図 1 4】

図 1 4 は、図 2 に示したユーザ端末装置のディスプレイに商品の紹介画面を表

示する状態を示す図である。

【図 1 5】

図 1 5 は、図 3 に示したサービス事業者システムの広告情報付加部の、音声データに対して広告データを付加する処理を行なう部分の構成を示すブロック図である。

【図 1 6】

図 1 6 は、図 3 に示したサービス事業者システムの他の構成例を示すブロック図である。

【図 1 7】

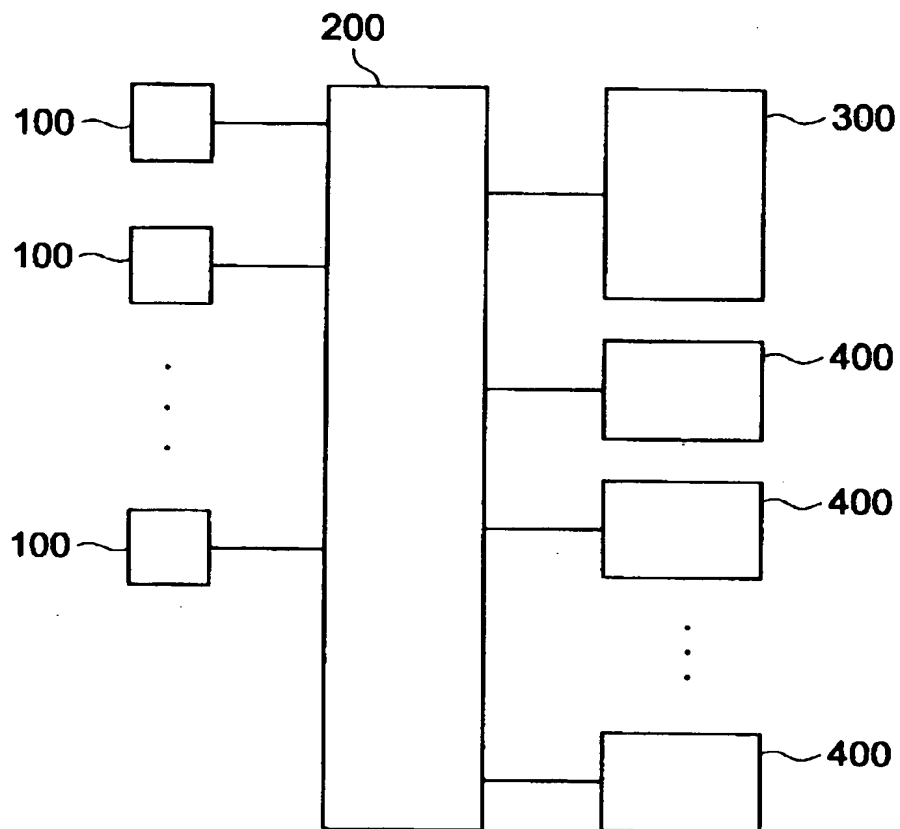
図 1 7 は、図 1 に示した通信システムの他の構成例を示す図である。

【符号の説明】

1 1, 1 2…通信システム、1 0 0…ユーザ端末装置、1 0 2…カメラ、1 0 4…画像符号化部、1 0 6…画像復号化部、1 0 8…ディスプレイ部、1 1 0…マイクロフォン、1 1 2…音声符号化部、1 1 4…音声復号化部、1 1 6…スピーカ、1 1 8…入力部、1 2 0…メモリ、1 2 2…通信 I / F、1 2 4…CPU、2 0 0…接続システム、3 0 0…サービス事業者システム、3 1 0…通信 I / F、3 2 0…広告情報付加部、3 2 1…画像合成領域抽出部、3 2 2…特徴抽出部、3 2 3…知識データベース、3 2 4…対象オブジェクト検出部、3 2 5…合成領域決定部、3 2 6…前処理部、3 2 7…画像合成部、3 2 8…切り換え部、3 3 0…データベース I / F、3 5 0…ユーザデータベース、3 6 0…スポンサーデータベース、3 7 0…契約関係データベース、3 8 0…広告情報データベース、3 4 0…制御部、3 9 0…趣味嗜好データベース、4 0 0…スポンサーシステム、5 0 0…元のライブ映像、5 0 1～5 0 7…画面上の画像オブジェクト、6 2 1…音声合成箇所検出部、6 2 6…前処理部、6 2 7…画像合成部、6 2 8…切り換え部、7 0 0…接続事業者システム

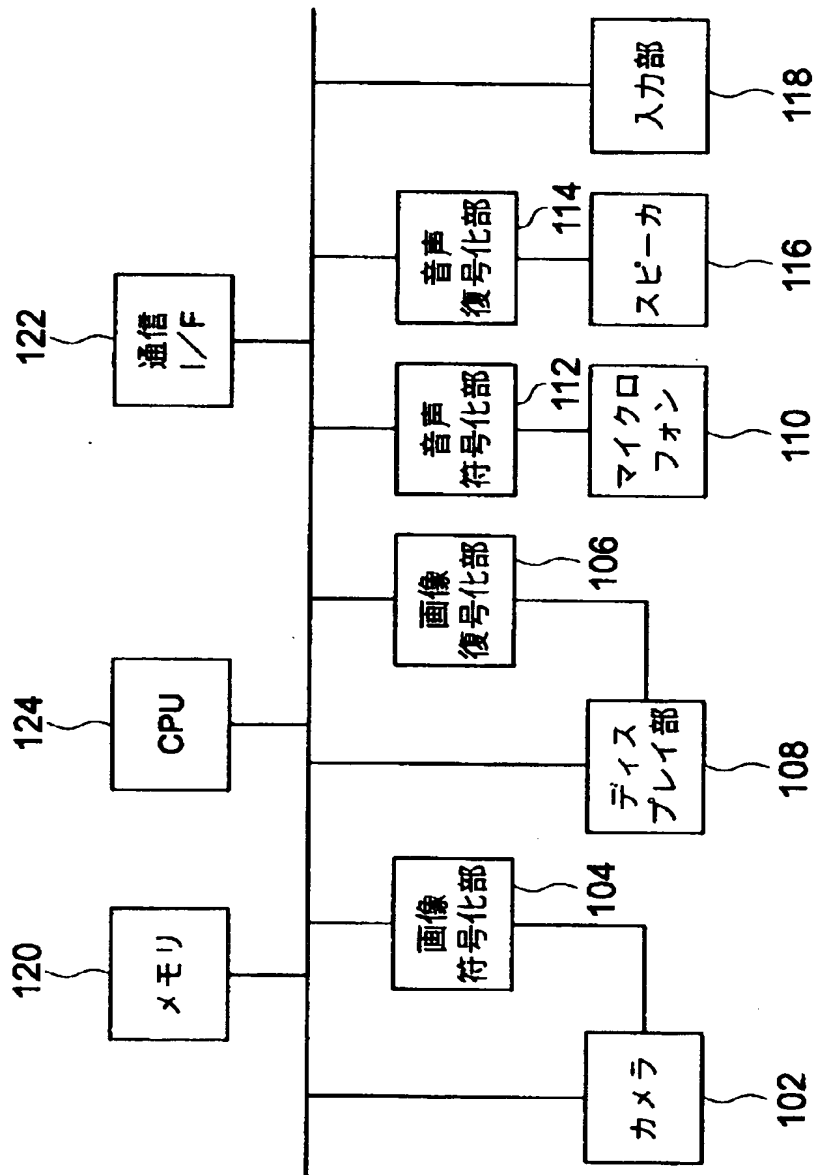
【書類名】 図面

【図 1】



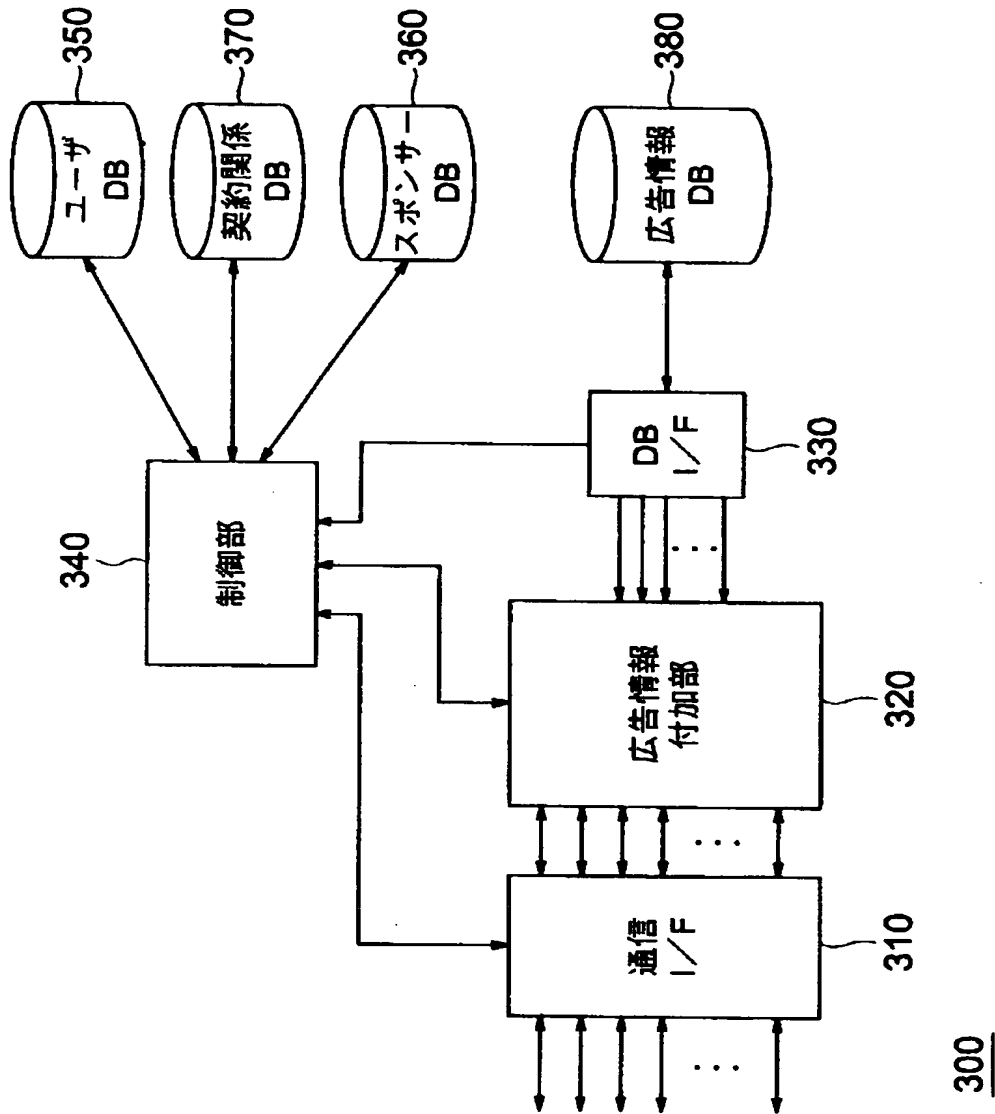
11

【図 2】

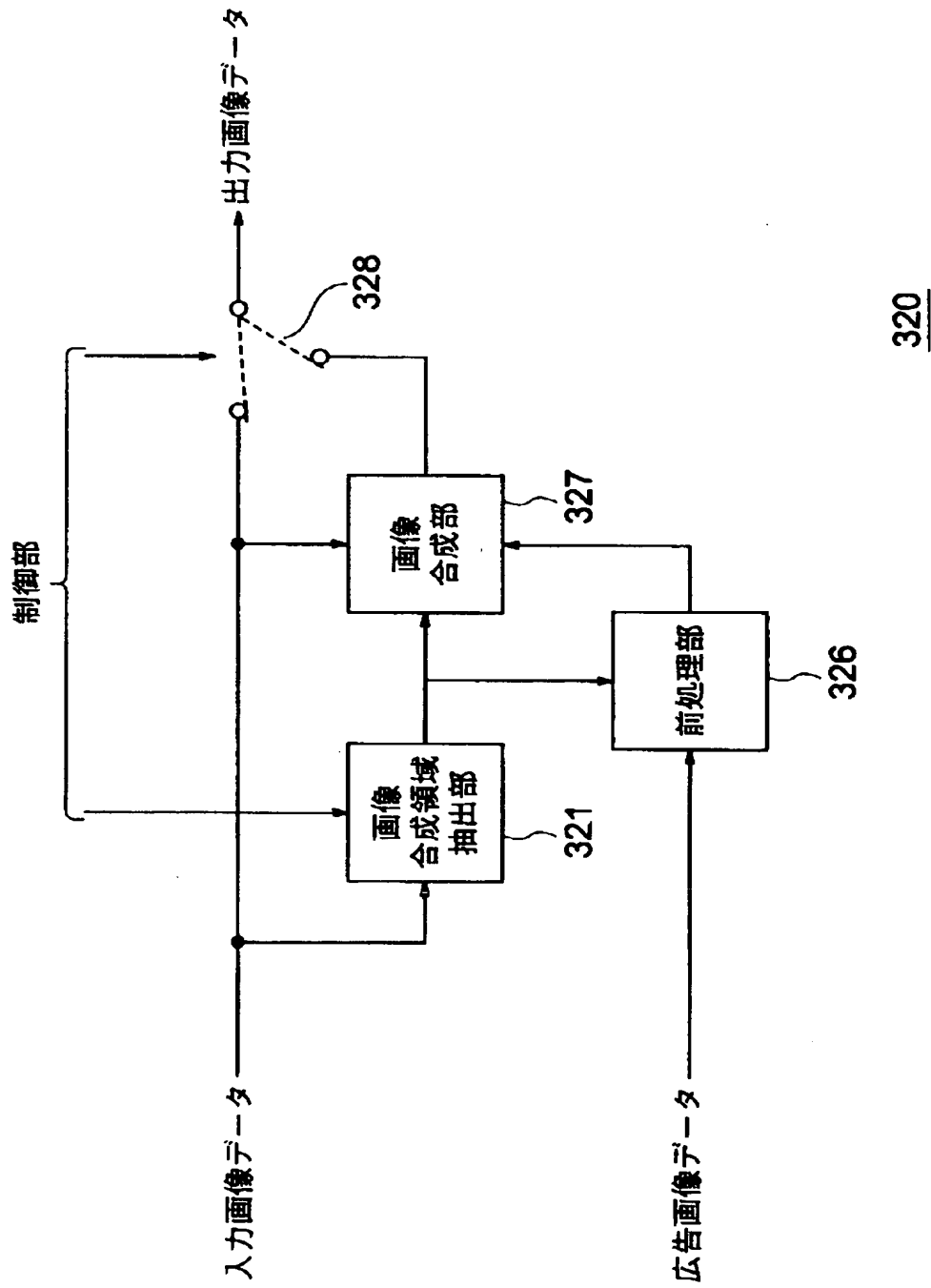


100

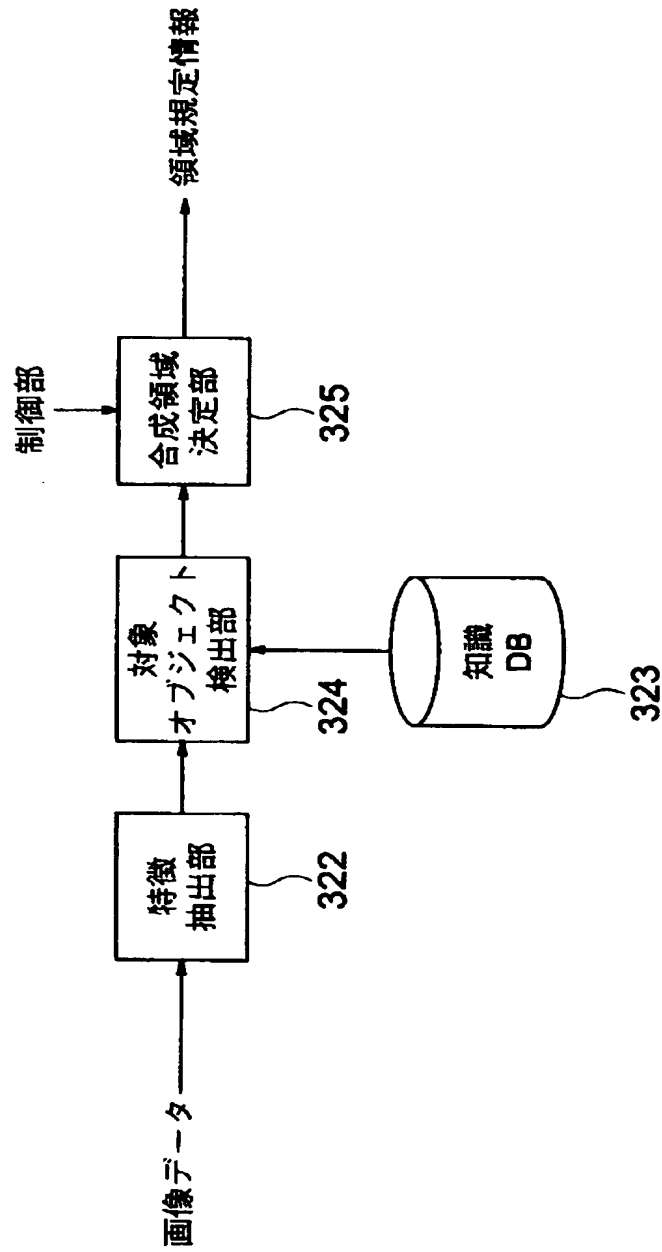
【図 3】



【図 4】

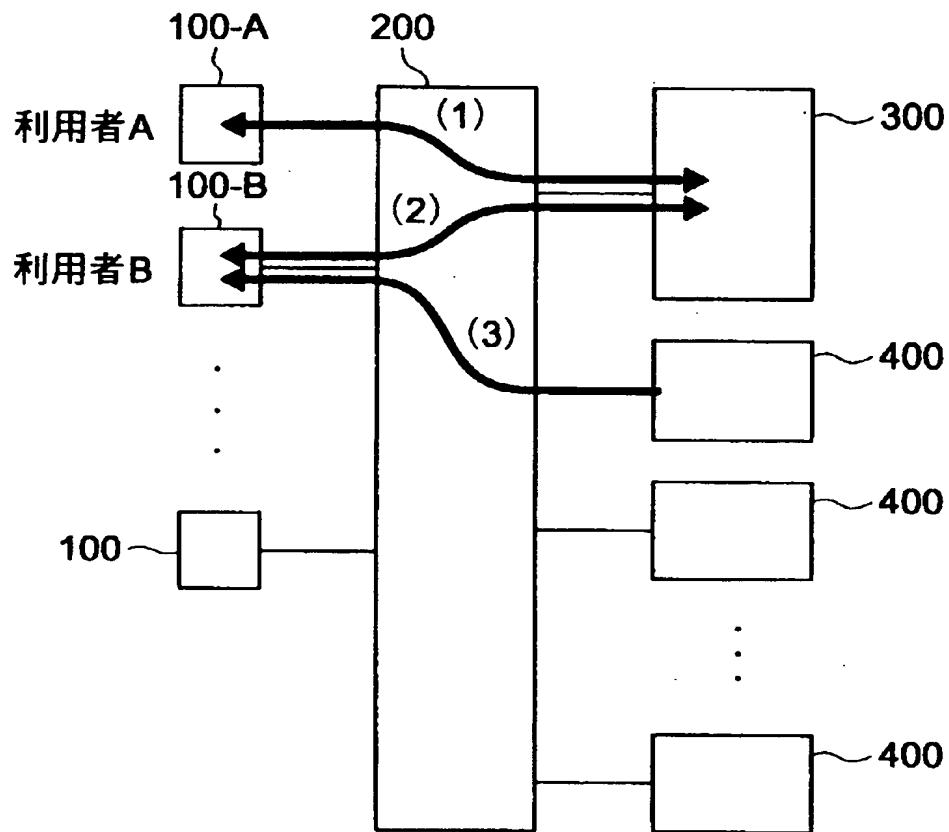


【図 5】

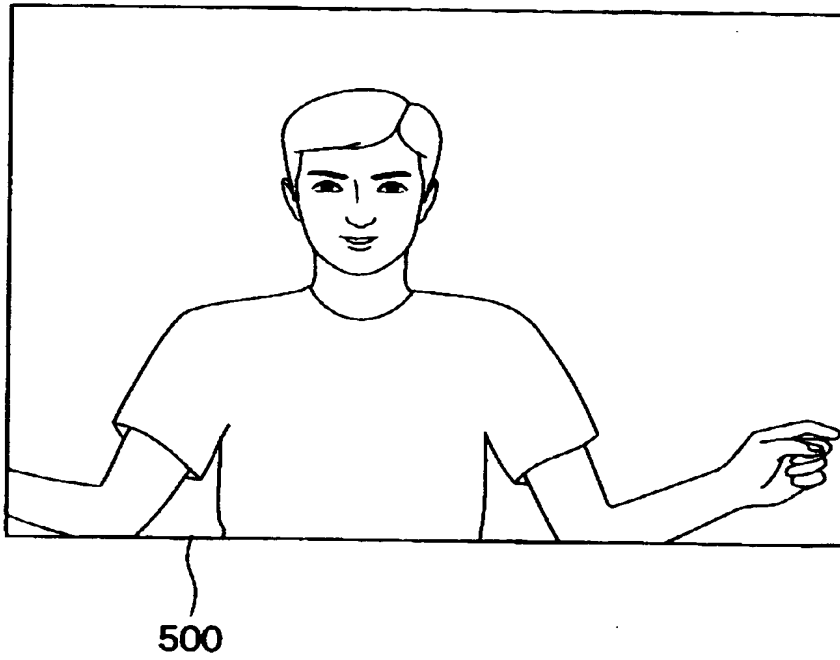


321

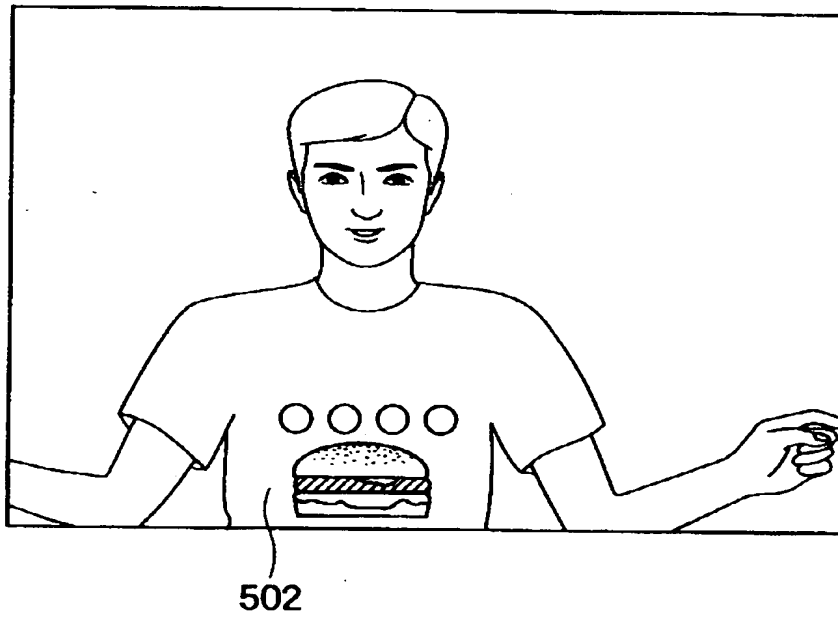
【図 6】



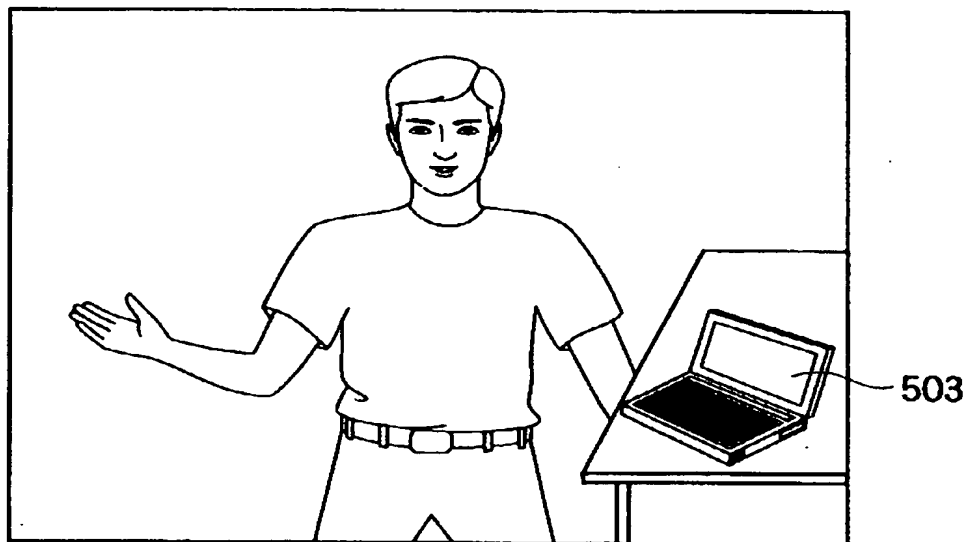
【図 7】



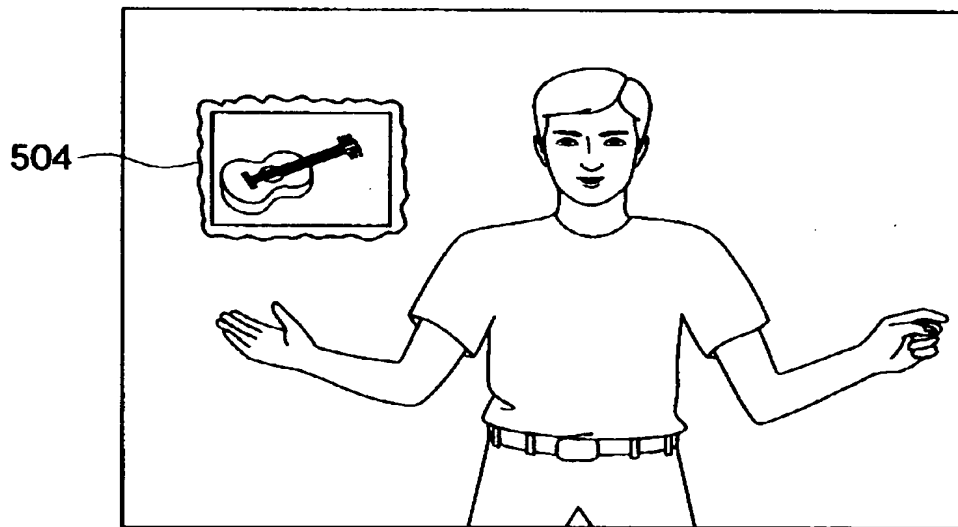
【図 8】



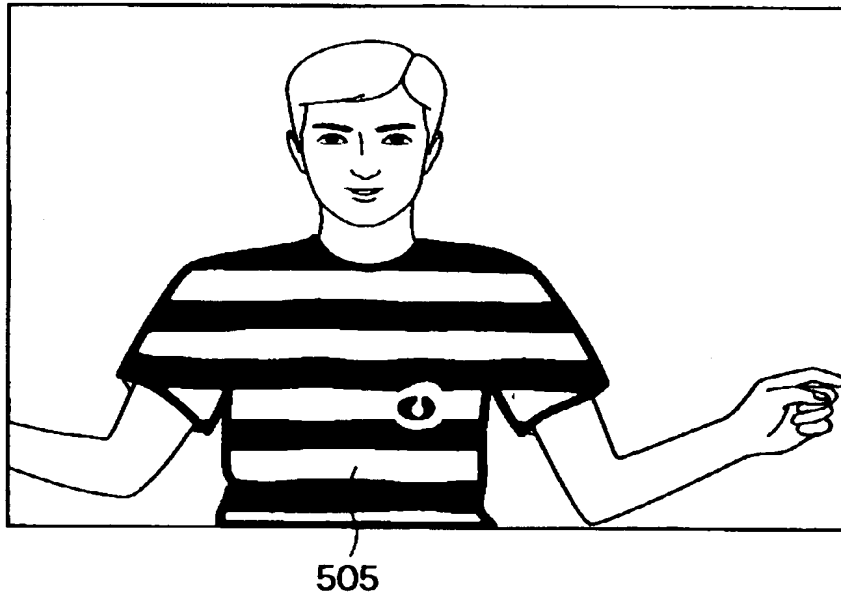
【図9】



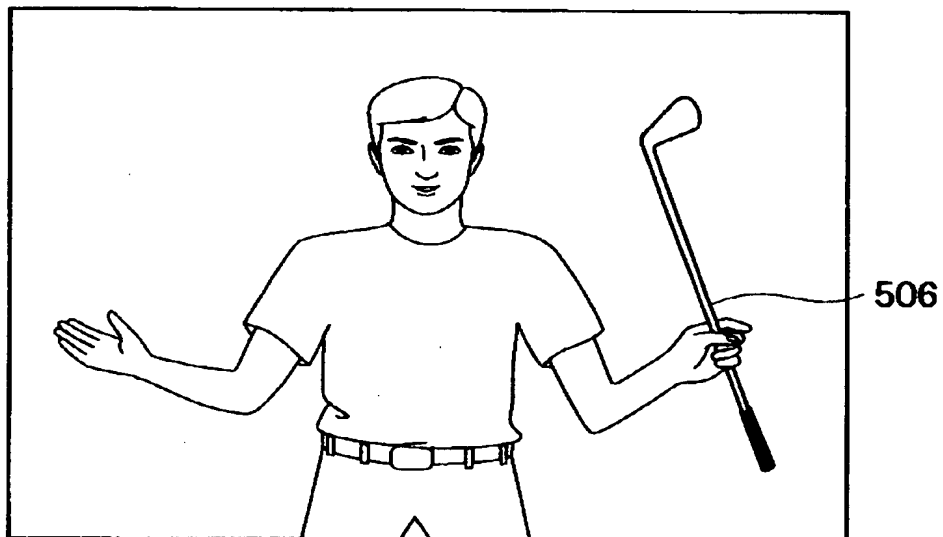
【図10】



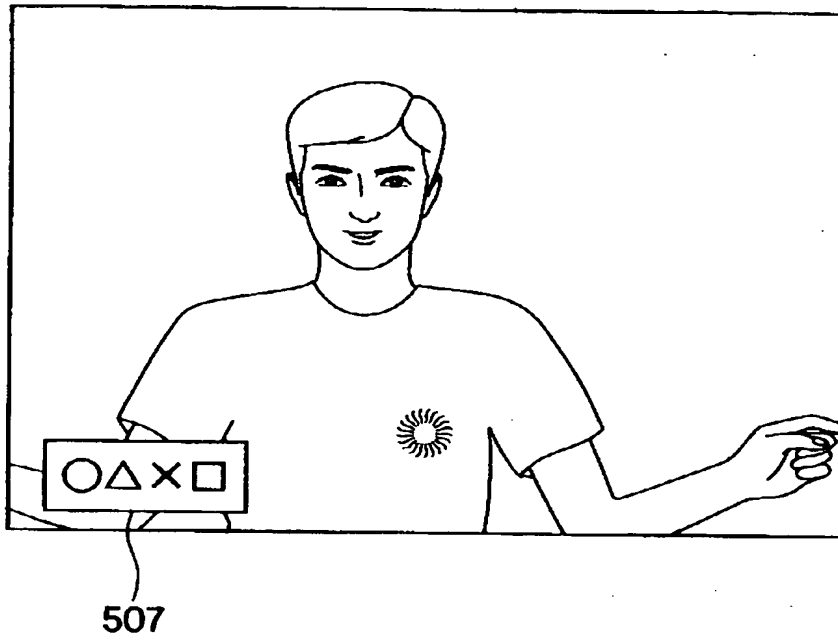
【図11】



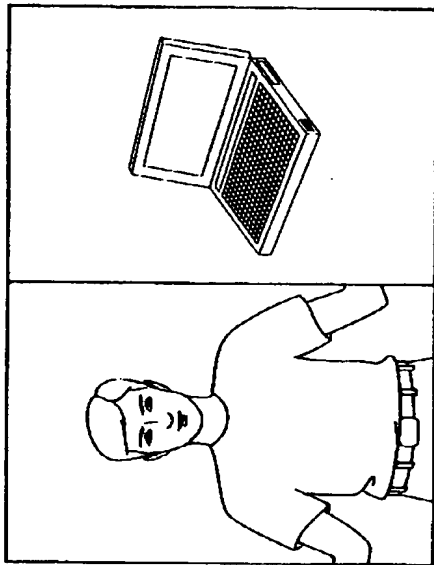
【図12】



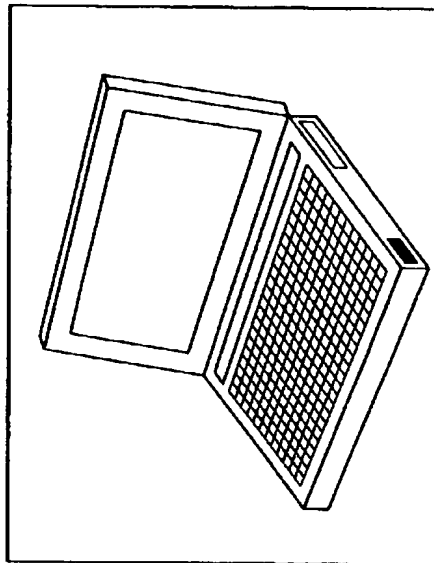
【図 1 3】



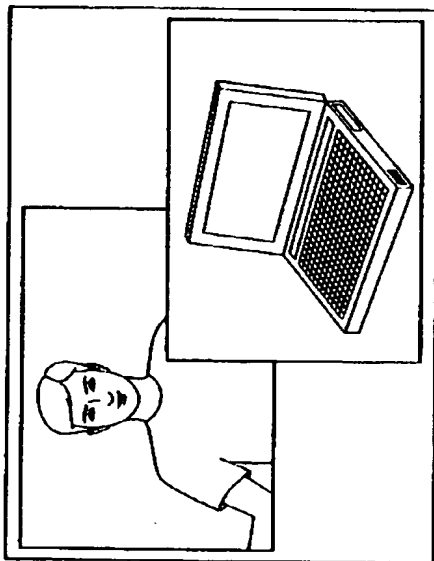
【図14】



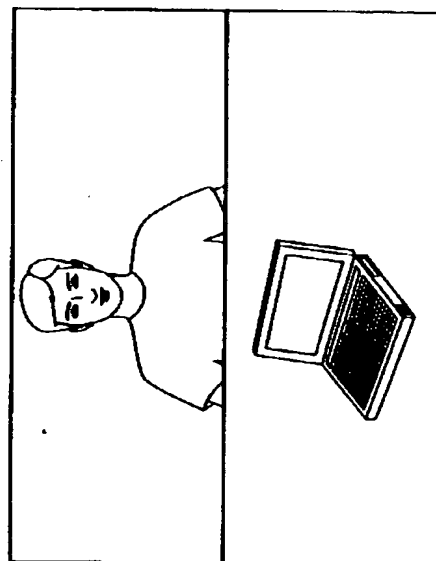
(B)



(D)

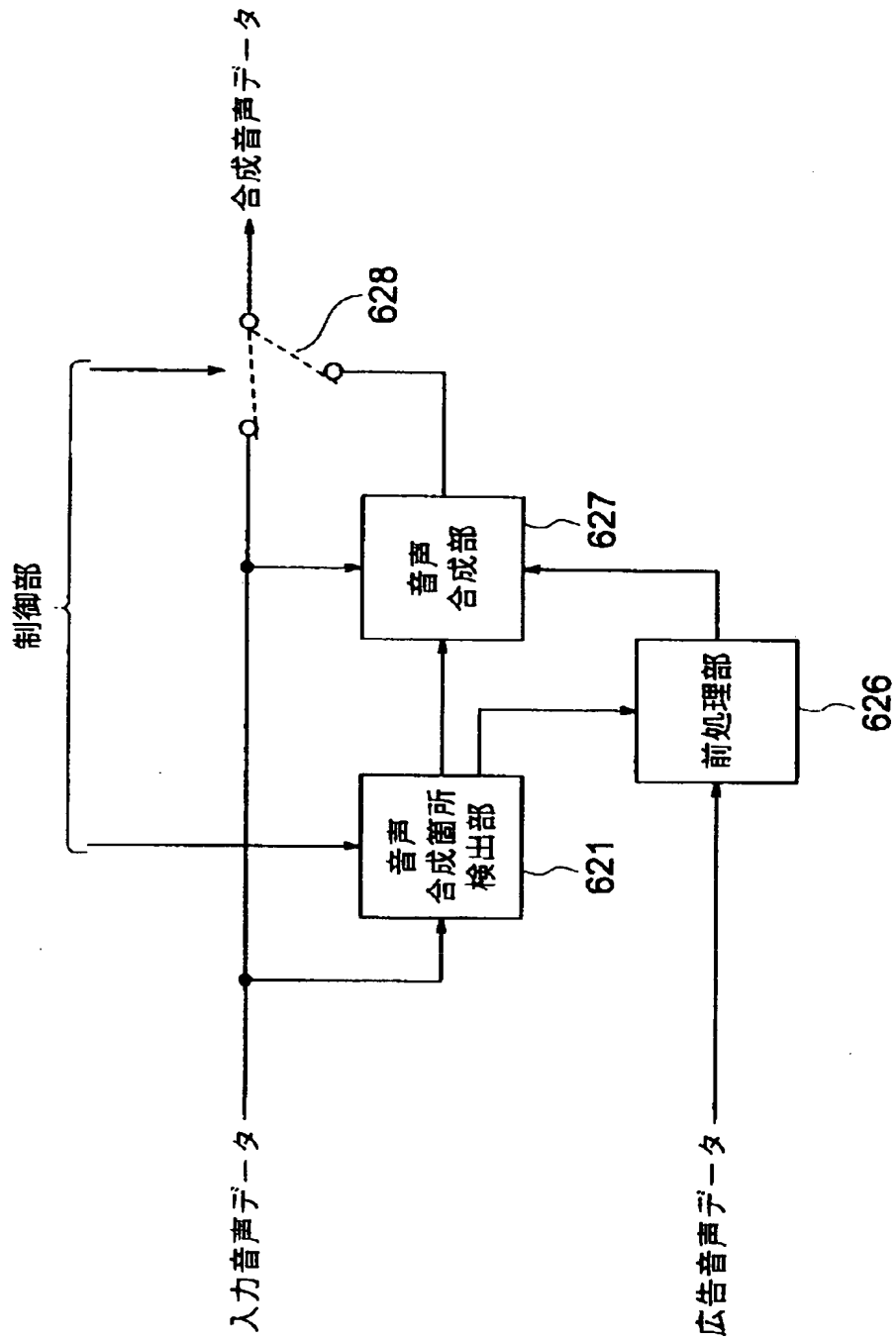


(A)

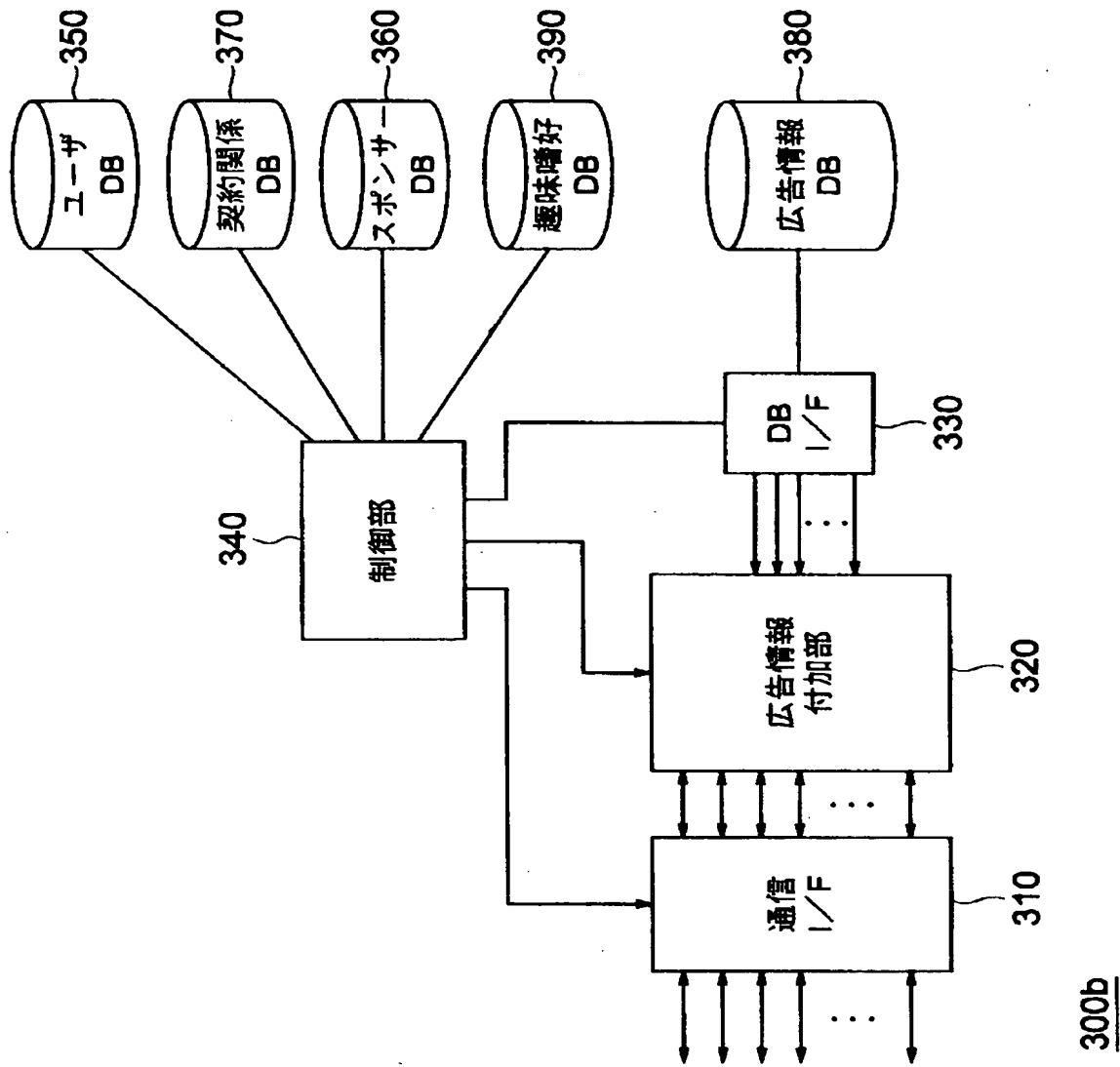


(C)

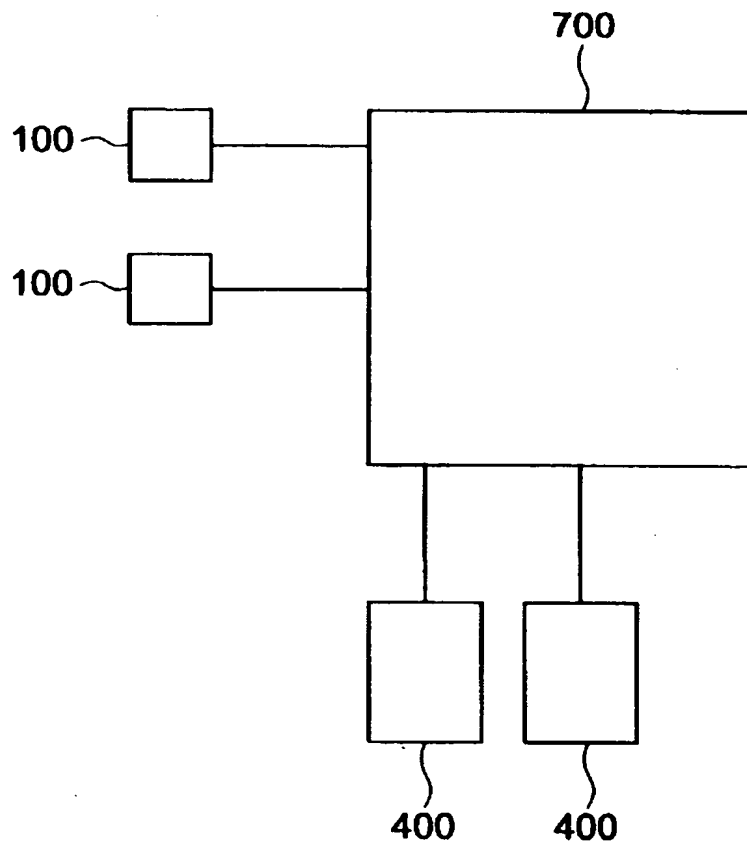
【図 15】



【図 16】



【図 1 7】



12

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 プラベートな通信環境において有効な商品広告を行う。

【解決手段】 各ユーザ端末装置 1 0 0 は接続事業者システム 2 0 0 によりサービス事業者システム 3 0 0 に接続され、サービス事業者システム 3 0 0 を介して相互にライブ映像を伝送可能に接続される。利用者は、適宜自分のライブ映像の広告媒体としての利用を許可する設定および広告する商品の選択をしておく。そのような設定を行なった利用者のユーザ端末装置 1 0 0 から送信されたライブ映像は、サービス事業者システム 3 0 0 において、たとえばその利用者のTシャツに広告対象の商品の画像を合成するなどの画像合成処理が行なわれた後、通信相手のユーザ端末装置 1 0 0 に送信される。通信相手がこの画像をクリックすると、さらにその商品のスポンサーシステム 4 0 0 に接続され、さらなる商品の説明を受けたり、取引を行なうことができる。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000002185]

1. 変更年月日 1990年 8月30日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都品川区北品川6丁目7番35号

氏 名 ソニー株式会社